新京日日新聞
夕刊
三月一日
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵稅一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話(編輯局專用)三三二〇五 (營業局專用)三三二〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

建國の佳節を祝福

清朗の氣天地に滿ち
日滿擧つて壽ぐ
國都また祝建國の一色

◇……寫眞說明
1參賀のため宮中に參內の文武百官、2新京神社における愛國式典、3國務院の建國記念式典、4大同公園における慶祝大會、5同所における于中央本部長の講演

滿洲建國の大業はこゝになり三月一日滿洲帝國は輝かしい第六回建國節を迎へた、この日全滿に亘り祝賀行事が盛大に擧行された、少し膚寒いが絶好の建國日和に惠まれた國都新京では朝來各戸に日滿兩國旗を掲げ淸掃された路上にはバスも馬車も日滿兩國の小旗を翩翻とひるがへし、宮中行事、新京神社における愛國日式典、各官署の式典、大同廣場の建國節祝賀大會等により全市は全くの慶祝一色にぬりつぶされて仕舞つた、午後六時半よりは協和會館にて建國の夕が開催されることゝなつてゐる

愛國式典

愛國運動首都聯盟主催の愛國式典は時宛かも滿洲建國節たる一日午前八時から新京神社の神苑で嚴かに擧行された、天氣淸朗なれども風なほ寒き早春の曉靄をついて集る市民約千五百滿鐵ブラスバンドの指導にて日滿國歌奉唱裡に兩國々旗の掲揚を行ひ皇居遙拜神社參拜ののち駐滿海軍部代谷參謀長の謹話、一同非常時下の覺悟を新にし于市長の發聲で大日本帝國萬歲國屋副市長の發聲で滿洲帝國萬歲を唱和して式を閉ぢ勇壯なるブラスバンドの愛國行進曲吹奏裡に散會した

顯官參賀

滿洲建國を壽ぐ建國節式典は滿洲國旗の翻るところ一齊に擧行されたが、此日畏くも皇帝陛下には午前十時三十分勤民樓に出御、張總理始め文武百官、植田駐滿特命全權大使谷本駐滿海軍部司令官を始め駐滿外國使臣の參賀をうけさせられた

慶祝大會

新京神社に於る愛國日式典が終つて午前十時五十分より大同公園に於て建國節慶祝大會が開催された、定刻前より公園內の廣場には都下六十餘の協和會各分會員約二萬各々會旗を先頭に整列、先づ甘粕中央本部總務部長の開會の辭につぎ、國旗掲揚、國歌齊唱あり、全員建國殉難の英靈に對し一分間の默禱を捧げ、終つて于協和會首都本部長、富田中央本部參與の時局に相應しい講演あり、坪上中央本部參與の發聲で大滿洲帝國萬歲宋協和會長春縣本部長の發聲で大日本帝國萬歲を三唱二萬の參列者これに唱和淸朗の天氣に呼し、最後に宍澤首都本部委員の閉會の辭あつて十一時半終了した

首警慶祝式典

建國六周年記念日首都警察廳における慶祝式は本廳講堂において午前九時半より開式、日滿國歌合唱に次いで御容最敬禮國務總理大臣及星野總務長官の訓示をレコードによつて傳達し後警察總監並副總監の式辭あつて十時嚴肅裡に閉式した、續いて廳員は一同忠靈塔に參拜建國の人柱地下に眠る英靈に對して默禱を捧げ同十一時半散會した

東京の慶祝大會

【東京國通】一日の友邦滿洲國建國六周年記念日は新京の建國祭に呼應して東京でも市日滿中央協會、日滿實業協會その外の共同主催で盛大な式典が擧げられた、滿洲國大使館では午前十時半から在京滿洲國關係者多數參列、阮大使司會で式典を行ひ建國の興隆を慶祝、皇帝陛下の萬歲を唱和して乾盃した、又午後三時からは青年團、少年團、國防婦人會、愛國婦人會の各代表二千餘名が靖國神社境內に集合兩國旗をかざして旗行列、空からは廿萬枚の慶祝ビラが三臺の飛行機から撒かれ、同五時半からは日比谷公園の市公會堂で建國六周年慶祝記念式典が開かれ日滿中央協會々長宮田光雄氏の挨拶、つゞいて廣田外相、アウリッチ伊大使、ネーベル獨代理大使、カスティヨスペイン代理公使、マレラ駐日ローマ教皇使節その他の祝辭、阮滿洲國大使の答辭あり終つて餘興がある

陝西省境黃河々畔の要衝軍渡を占據
西部黃河へ一番乘り

【汾陽廿八日發國通】廿四日離石、中陽を占據したわが精鋭部隊は、廿六日正午頃離石西方約廿キロの柳林鎭を占據し息つく間もなくさらに西進同日夕刻陝西省境黃河々畔の要衝軍渡に突入してこれを占領した、なほこれはわが西部黃河への一番乘りである

蚌埠東方湖上戰
二千の敵兵を殲滅

【臨淮關廿八日發國通】臨淮關、五河、明光を結ぶ三角地帶に巣喰つてゐた馬山の敵兵約一萬五千は廿七日朝來田代、金田、横尾三部隊の包圍猛攻擊と空よりの爆擊によつて潰滅的打擊を蒙つたが、廿八日午前十時頃花園、焦城兩湖中間の山嶽地帶から狩り出された敵約二千は戎克によつて花園湖上を五河方面に逃走せんとして田代部隊に發見され田代部隊勇士は直ちに戎克で追跡しこゝに湖上において一大水上戰を展開、一方湖岸に放列を布いたわが砲兵部隊は一齊に砲門を開き陸軍機亦湖上すれ〱に低空飛行をなして機銃の猛射をあびせ敵舟を片端から痛快にも擊沈、あたかも壇の浦における平家の末路にも似て二千に餘る敵兵は殆ど水底の藻屑と消え果てた

中尾部隊長重態

【平河鎭廿八日發國通】中尾部隊長中尾榮郎氏は一兩日前の戰鬪で腹部貫通銃創をうけ重態である

共產軍司令部を爆擊す

【彰德廿八日發國通】島田部隊○○機は廿七日午前十一時頃沁縣東方約五里の故縣鎭にある共產軍總司令朱德の司令部を爆擊した

曲陽附近で鐵橋を爆破
敵の退路を斷つ

【彰德廿八日發國通】廿八日園田部隊の○○機は曲陽の西方六里の地點を退却中の敵兵二百を爆擊、同じく島谷部隊の○○機は同日午前十一時半同附近の鐵橋を爆破して敵の退路を斷つた

滿洲のグライダー紹介者
鵜澤君病死

【東京國通】我國グライダー界のホープとして將來を囑望されゐた霧ケ峰グライダー研究會の鵜澤輝彦君(二五)は幹部候補生として北支戰線に出征活躍中、去る廿六日急性肺炎で大同野戰病院に入院、翌廿七日つひに死亡した旨廿七日世田ケ谷の自宅に入電があつた、同君は一昨年滿洲國に招かれ同國にはじめてグライダーを紹介、昨年早くもこれが實を結んで全滿グライダー大會が開かれるに至つたのも同君の功績の一とされその急逝は痛く惜まれてゐる

ソ聯製飛行機
蘭州で續々組立て

【香港廿八日發國通】チャイナ・メール紙が西安より漢口に歸來せる米國人の談として報ずるところによれば、西安蘭州道路經由ソ聯より支那に輸入されつゝ武器の數量は莫大なものがある、即ち同道路上には毎日支那及びソ聯のトラック二百臺位で貨物を滿載し全部覆ひを施して南下し西安に到着するや直ちに次の荷物を積むべく北方に急ぎ引返すのが見られる、これ等トラックによつて何が運ばれるか覆ひのために明白でないが彈藥その他軍需品たることは疑ひない、また新疆省首都ウルムチのほか蘭州、西安には多數のソ聯人飛行士、機械工が蝟集して待機してゐる、蘭州のみでも平均一日十機のソ聯製飛行機が組立てられ西安、漢口、南昌等へ空輸されてゐるこれ等の內大部分は時速三百哩を出し得る快速小型追擊機でその航續力は千五百哩である、また西安にはソ聯陸軍少將指揮のもとに大飛行機組立工場があり、ソ聯人の技師、職工百餘名を使用して嚴重な警戒のもとに飛行機の組立に多忙を極めてゐる

滿洲重工業
人的連絡機關新會社を設立

【東京國通】滿洲重工業開發會社は滿洲國における重工業の綜合的開發に當る外內地にあつては舊日產系子會社を資本的にも人的にも統制する事になつてゐるが、滿洲國內の子會社が親會社を中心に極めて密接な關係を維持せるに反し、內地の子會社は資本的にこれを制約するとは云へ人的統制は頗る難事とされるに鑑み近く滿洲重工業と舊日產子會社間の人的連絡機關として新會社を設立することに方針決定、目下鮎川總裁を中心に會社設立に關する具體的內容を考究中である、從つて新會社の名稱、資本金額等未定なるも會長には鮎川氏が據え取締役には舊日產會社の各社長を選任する筈である、なほ新會社の設立目的は主として人的連絡にあるが一方證券會社なる性質も附與して子會社の株式によつて或る程度の金融操作を行はしめるものと見られてゐる

滿洲重工業
職制一部改正

【東京國通】滿洲重工業では今回職制を一部改正して東京支社長代理制を新設現常務理事兼東京支社長山田敬亮氏の代理に東京支社經理課長川端良次郎氏を充てることゝし右に伴ふ異動を廿八日左の如く發表した

東京支社經理課長 川端良次郎
命東京支社長代理
東京支社監查課長 吉田寅五郎
命東京支社經理課長
東京支社監查課次長 梅溪通弘
命東京支社監查課長

滿洲國債二億圓
正式調印

【東京國通】滿洲國政府は滿洲重工業開發會社に現物出資するため滿鐵より昭和製鋼所外四社の株式一億七百萬圓を讓り受けることになつてゐるが、これに要する資金として滿洲國債二億圓を發行するに決定、過般來大藏省その他關係方面と折衝中のところ二十八日興銀ならびに滿洲國債シ團引受をもつて正式調印を了した、なほ詳細については一日午後對滿事務局より發表される筈

東拓法改正案

【東京國通】廿八日政府より衆議院に提出された東洋拓殖株式會社法中改正法律案並に改正要旨左の如し

東洋拓殖株式會社法中改正の要旨

東洋拓殖株式會社の業務の進展に伴ひ、同會社法中左記要領により改正をなさんとす

一、副總裁(一名)を設置すること
二、參與理事の制度を設くること
三、東洋拓殖債券發行限度を拂込資金額の十倍より十五倍に擴張すること
四、營業地域に關する規定を改正すること
五、前各號の改正に伴ふ關係條文の改正並に條文の整理を行ふこと

人事往來

着京

▲武富吉雄氏(會社員)一日東京國都ホテル
▲角田藻氏(滿鐵社員)同
▲正城安治氏(土木業)二十八日東京國都ホテル
▲大原久之氏(日鐵社員)同向陽ホテル
▲北井幾人氏(醫學博士)同
▲中村伊之輔氏(農業)同
▲米倉勝人氏(滿炭社員)同
▲山地軍雄氏(滿鐵社員)同中央ホテル
▲笠龜基氏(官吏)同
▲孕石貞治氏(木材業)同都ホテル
▲佐々木與五郎氏(官吏)同新京ホテル
▲片山浪藏氏(同)同
▲長廣隆三氏(滿鐵社員)同
▲星野福也氏(同)同蓬萊ホテル
▲二瓶都三夫氏(會社員)同國際ホテル
▲大塚進一氏(同)同
▲森喜代八氏(日本鋼管)同大都ホテル
▲岡川榮藏氏(滿鐵社員)同
▲村田昌司氏(鑛業)同富士屋旅館

出發

▲內山完造氏 一日奉天へ
▲佐原憲次氏 哈市へ
▲石谷卓三氏 奉天へ
▲清野濱吾氏 哈市へ
▲八尾愛治氏 同
▲松崎直人氏 同
▲內野正夫氏 大連へ
▲新郷飾藏氏 西安へ
▲奥村彥次氏 奉天へ
▲藤茂氏 同
▲龍野嘉市氏 同
▲深野稔氏 同
▲小林淺之氏 同

その日

□ 輝く建國節、すでに爽かに春風動き、この國の飛躍を祝福する

□ この日、建國の大業に身を獻げた先人たちに捧ぐ感謝、今さらに感慨を呼ぶ

□ そして國民一致の勇往邁進の前には、難關何程でも無かるべきを思ふ

□ 友邦支那の明朗全きは何時か、われらはまたこれへの支援を怠たるべきでない

□ 時は三月、殘雪あるとも春はひらく、若芽は伸びる、人間世界また然り

建國慶祝大會

于中央本部長の講演

萬物煥茂、春光熙照の節本日茲に建國第六周年記念慶祝大會を開催し朝野諸賢の御臨席の下に祝詞を述べ得ますることは寔に光榮且欣快に堪へざる處であります

我國は現下支那事變を繞る東亞の非常時局に對應しまして非常態勢ノ下に第二建國とも謂ふべき建設に入り百般の内政施設は中央地方共整備充實し其の實績獨が上に高まりますと共に產業經濟國防更に一段の向上充實を遂げて其の面目を一新せんとして居ります而して曩に日滿善隣不可分に依る日本の大乘的仗義に依つて實現を見ました治外法權の撤廢、滿鐵附屬地行政權の移讓は更に新國家として國格を強化しまして創業の實績赫々たるものがありますのは一に上皇帝陛下の御稜威の下に外盟邦日本の不斷の犧牲的援助と內朝野一致協力の致す處でありまして眞に同慶に堪へない次第です

惟ふに我建國の意義は森嚴且高遠でありまして獨特眞美なる王道政治を創建宣揚し世界正義と平和に貢獻せんとするに在ります、之が理想の達成は一に懸つて日滿一德一心、民族協和の理想に炎ゆる確固不拔の國民精神に依存します一國の興隆は國民精神の高揚に俟ちますが故に國民は須らく建國の理想を明徵にし旺盛確固たる建國精神の涵養に勉め志氣を振作して王道國民としての德性を錬磨し舊來の陋習を打破すべきであります

而して我國の國際的位置著々高揚しまして客歲イタリー、西班牙の我國承認に繼いで今次又獨逸が承認せんとするの聲明がありました建國僅かに六星霜にして斯くの如く世界平和確立の協力者として確固たる地位を築きつゝありますことは寔に欣快に堪へざる處でありまず、然し乍ら現下國際政局は現狀維持國と現場打破國の二大陣營に對立抗爭し其の溝渠愈々深くなり其の推移發展は實に端倪を許さないものがありまず、殊に脚下に於きまする今次支那事變に關しては盟邦日本の事變不擴大方針の堅持にも拘らず國民政府の無反省は遂に自らを驅つて共產黨の陷穽に落入らしめ中國をして赤化の溫床と化するに至り敢て長期抗日に狂奔し東亞の平和は未曾有の難局に逢著するに至りまして日本は是に於て斷乎此の東亞赤化の禍根を芟除して新興臨時政府を援助育成し之と提携協力し東亞の平和と秩序の確立の爲百年の大計を樹立しようとして居ります、而して之が難局克服の聖職著々其の效果を收めつつありますことは吾人滿腔の感謝と敬意を表する處であります

友邦日本と無窮の特殊關係に立ちます我國は官民一途御聖旨を遵奉して更に一段國力の充實、國防の強化を計つて凡ゆる物的人的資源を動員して事變の最終目的達成の爲日滿一體の實を擧ぐ可きでありまず、之が爲には國民は上下等しく滿洲國建の眞精神を明確に認識し時局の大勢を洞察しこの強固なる信念を以て公私の日常生活を通じ至誠奉公なすこと切望に堪へません而して尙進んで來る可き東亞の新事態に基く世界觀を明確にして世界秩序に貢獻せんとする心構が肝要であります

以上簡單ながら所感を披瀝し私の講演を終ります

勇敢なる四斥候兵

危機を脫出し任務を果す

津浦戰線に咲く美談

【蚌埠廿八日發國通】津浦線の戰線において正規兵、紅槍匪、土匪等三方から群る敵に包圍されながらよくこの

危機

を脫出、重要任務を完了した勇敢なる四名　斥候兵があつた二十七日添田部隊四宮隊の石田七平上等兵（新潟縣）、馬島勝平一等兵（新潟縣）、飯口庄平一等兵（新潟縣）、藤田清知一等兵（新潟縣）の四名は敵匪部落の情況視察を命ぜられ任務を終つて歸途、午後四時頃懷遠西北方二里の部落に差しかゝつた際突然約卅名の正規兵の襲撃をうけこれに應戰中さらに槍合より紅槍會匪百餘名が殺到して來たので二手に分れて應戰したが如何せん敵は我に數十倍の敵である、四人は敵狀報告の任務を持つ斥候兵だ、部隊まで生還しなくてはならぬと決意してクリーク沿ひに走つた、今一步で無名部落まで着くといふ瞬間、部落內から火の手が上ると見る間にその中から青龍刀、棍棒、槍を手にした約二百の

土匪

が四人を目がけて襲つて來た、敵は豫め計畫してゐたのだ、今は退くに退けず進むに進めず日本男子らしく潔ぎよく死を誓つた四人は三方から押寄せて來る敵に對して銃身も熔けよと射ちまくり敵も射つてくる、一彈は馬島一等兵の胸部を貫いてゐた、バッタリと倒れた馬島一等兵を抱きかゝへる暇もなく三人は「しつかりしろ」と口々にさけびながらなほ銃の引金を引き續ける敵はすでに廿米の間に迫つて來た瞬間、四人の頭には報告の重任がひらめいた、死んではいけないのだと思ひ直すと銃を持つて群る敵中に突撃を敢行した、敵はこの勢に驚いて一寸たじろいたその隙をねらつて四人は互ひに庇ひながら敵を突刺し、毆り倒して無我夢中で馳けた、午後七時部隊にだどりついた四人は味方に「しつかりしろ」とどなられてはじめて危機を脫出したことに氣がついた、何時折れたのか一人の

銃身

は折れ又一人は銃の代りに血まみれとなつた敵の長槍を確かりと握つてゐた、報告を聞いた四宮部隊長の眼には淚が光つてゐた、〇〇野戰病院で馬島、飯口兩一等兵は「今思つてもゾッとします、よくあの重圍の中を切りぬけたもので、全く神の加護だと思つてゐます」と元氣で語つた

中村部隊

強行軍の跡

【彰德一日發國通】靈石を失つた敵が最後の決戰場と恃んだ臨汾を占領一番乘りをなした中村部隊は廿二日早朝潞安を出發以來嬰儀鎮、華寨、府城鎮をつぎつぎに攻略、山の難所至るところの斷崖を前進し廿六日早くも臨汾東北方四里の曲亭鎮に達し必死の抵抗を試みる敵を片つ端から潰滅して猛進廿七日臨汾城に到達したが潞安から臨汾まで四十四里、道は峻嶮なる山岳の地隙を縫うて曲折する隘路、しかも隨所に敵の頑強な抵抗を排擊しつゝ前後六日間、一日七里餘の強行軍を遂行したのは全軍驚嘆の的となつてゐる

膠濟鐵路スピードアップ

【濟南廿八日發國通】膠濟鐵路は二月十七日開通以來每日一個列車を運行日支民衆に多大の便宜を與へてゐるが、何分應急修理のため線路の補強が充分でなく濟南、青島間は二日間を要する有樣であつたが最近木村部隊及び滿鐵の努力により補強工事も漸く完成を見るに至つたので三月一日よりスピードアップを敢行し全線十四時間運行を實現することゝなつた、すなはち青島午前七時半發、濟南午後九時着で濟南發、青島着列車も同樣のダイヤで運轉する、事變前の所要時間は約十二時間で斷然これに近づいてゐる、なほ同線による濟南方面への一般貨物輸送は濰川、博山炭田の燃料輸送がとみに活況を呈し若干の復興材料の他一般生活必需品輸送にまで進んでゐないが、大體三月中旬頃までには滿鐵の手によつて假營業を開始し一般旅客の運行を見るはずで、山東の經濟的復興に大なる拍車をかけることゝなつた

山海關經由入滿苦力

一日千三百餘名

奉山線各列車は連日超滿員

產業開發五ヶ年計畫の進捗に伴つて滿洲國內における苦力の需要は激增の一途を辿り滿洲國當局においてもこれが緩和策として昨年迄苦力入國數を卅八萬人に制限してゐたものを本年は特に五十萬人に增加し勞力不足に備へる方針であるが、北支復興工作の急速なる進展に伴つて同方面に多數の苦力が吸收されつゝある結果、本年度の苦力入國數は昨年に比し多少減少を豫想されてをり早くも一般企業家の惱みの種となつてゐる、しか し乍ら解氷期を間近に控へて滿洲國に入り込む苦力は漸次增加を示し殊に山海關經由のものは最近一日一千三百名は下らないといふ有樣で奉山線各列車は之等苦力のラッシュで連日超滿員の盛況にある、尙二月十九日より廿八日迄の十日間における山海關經由入滿した苦力數は一萬三千七百十名で一日平均一千三百七十餘名、又本年一月以降二月末日までの累計は二萬四千名に上つてゐる、二月十九日より廿八日までの十日間における山海關經由入國苦力數の內譯左の如し

日	人數
十九日	一、〇二一
廿日	一、二二四
廿一日	一、九九五
廿二日	一、二二五
廿三日	二、三四四
廿四日	一、三五一
廿五日	一、七六一
廿六日	一、四一九
廿七日	一、六七〇
廿八日	一、七〇〇
合計	一三、七一〇

佛オ委員主席

オリンピックの眞髓を說く

【パリ廿七日發國通】フランスオリンピック委員主席フランソア・ピトリー氏はカイロ總會に對するフランス側の態度につき「フランスは純スポーツ精神堅持の立場から政治的な事情等によつて東京大會を云々すべきでない、不當な對立的現情勢についてはフランスは進んでこれが解決に努力する」と言明し、最後に「スポーツは生活のためにしたりまた政治に利用したりすべきものではないのに最近一部オリンピック委員中には誤解があるやうなのはまことになげかはしい次第である」と附言し日本にとつて甚だ心強い感じを與へた

東京大會の陸上競技施設

小委員會附託

【パリ廿七日發國通】二十六日フランス陸聯事務所で開催された國際陸聯規約記錄委員會に東京大會に關する諸事項が上程され、各國委員より準備模樣、會場施設に關する質問が出で、木下代表、技術顧問クリンゲベルグ氏より說明があつて和氣靄々裡に懇談を重ね結局東京大會の陸上競技に關する限りクリンゲベルグ、木下東作博士、三藤正三の諸氏並びに在パリの滿鐵社員秋吉勝廣、渡邊耐三兩氏これにスエーデン代表エクルンド氏を加へて以上六名を委員とした小委員會を設置、これに一任することに決定した、右の如く一任された、小委員會委員六名中五名までが日本側で占められ東京大會に對する空氣は極めて良好である

新民學院學生

三月中旬訪日

【北京廿八日發國通】新民學院の第一期生は將來中堅官吏として中華民國臨時政府を背負つて立つべく目下熱心に修學中であるがいよいよ三ケ月の課程を終り三月末には卒業の豫定なので新民學院ではこれ等卒業生に深く友邦日本の建國の精神を理解せしめるため卒業に先立ち三月十日頃北京出發訪日旅行を行ふことゝなつた

陸軍定期異動

けふ發表さる

四殿下を始め千五百四名進級

【東京國通】陸軍の三月定期異動は一日發令、同日午前十一時四十分陸軍省より發表されたが皇王公族御四方の御進級を始め奉り中將進級廿七名少將進級四十四名大佐進級百八十二名、中佐進級二百七十八名、少佐進級三百二十九名大尉進級四百廿七名（內一名は特別志願將校として始めて進級）中尉進級二百十七名（內廿四名を除く他は特別志願將校の進級）總計殿下御四方の他一千五百四名の多數に上り殊に特別志願將校の進級が百九十四名を數へることは注目される

【東京國通】陸軍省發表＝今回の異動については長期に對應する如く不動の陣容を整へ、特に新進を拔擢せられたり主なる進級異動左の如し

御進級

陸軍騎兵中佐　恒憲王

陸軍騎兵大佐　雍仁親王

任陸軍步兵少佐　孚彥王

陸軍步兵中尉　李鍝公

陸軍砲兵中尉

進級

任陸軍砲兵大尉

陸軍少將大久保雄賢、同安藤三郎、同田島榮次郎、同安岡正臣、同中島鐵藏、同阿南惟幾、同波田重一、同重藤千秋、同常岡寬治、同河村薰、同田尻昌次、同横山正雄、同濱野太吉、同中山德治、同大島浩、同澤田茂、同久納誠一、同羽守淸一郎、同佐々木到一、同佐竹保治郎、同安達十九、同秦雅尙、同齋藤彌平太、同濱本喜三郎、同今村均

任陸軍中將（各通）

主計少將　石川半三郎

任主計中將

軍醫少將　越川　彰

任軍醫中將

中華民國在勤帝國大使館附武官

陸軍少將　原田熊吉

免本職

陸軍步兵大佐梅村篤郎、同本田辰也、同青木敬一、同加藤保太郎、同土屋兵馬、同西村菊五郎、同安達二十三、同今泉吉良、同藤縣末松、同長野榮雄、同河村太市、同石黑貞藏、同岡宮夙夜、同奥村勤、同春見京平、同砂川泰、同倉茂周藏、同上村利道、同淸水規矩、同富士井末吉、同關原六、同中井重義、同櫻井省三、同齋岡雄一、同小野賢二郎、同鷹島藤誠一、同福島和吉郎、同越生虎之助、同片山省太郎、同山崎右吉、同中川廣、同軍砲兵大佐杉本春吉、同大島駿、同高橋政藏、同白倉司馬太、同西村琢磨、同横井信男、同高橋政藏、同佐藤航空兵大佐倉片深、同小畑英良、同鈴木竹德、陸軍工兵大佐戶澤二郎、同下野一霍、同今中武義、同星野中利貞、同菅波易二、陸軍憲兵大佐山本寬、同伊藤精田卓司、同竹內博介、同横山宗之助、同石本寅三、陸軍騎兵大佐森根丈之助、同城倉義衛

轉補

任少將（各通）

異動の主なるもの

陸軍中將　田島榮次郎

補下關要塞司令官

陸軍少將　戶澤二郎

補由良要塞司令官

陸軍少將　今中武義

補津輕要塞司令官

陸軍少將　上村利道

補東京陸軍幼年學校長

陸軍中將　久納誠一

補軍馬補充部本部長

陸軍軍醫少將　齋藤千城

補關東軍軍醫部長

陸軍步兵大佐　山田國太郎

補陸軍省兵務課長

陸軍步兵中佐　中西貞喜

補陸軍省馬政課長（各通）

陸軍工兵中佐　鏑田銓一

補陸軍省防備課長

ポーランド國在勤大使館附

武官

陸軍中將　澤田茂

ラトビア國在勤公使館附武官

陸軍中佐　小野寺信

免本職並に兼職（各通）

陸軍步兵中佐　上田昌雄

補ポーランド國在勤大使館附武官

陸軍步兵少佐　高月保

補ラトビア國在勤公使館附武官（寫眞は上佐々木中將、下今村中將）

社員會幹事に人見人事課長

次期滿鐵社員會幹事は滿鐵の推薦打合會で人見總裁室人事課長を推すことに決定したので、來る三月二日各幹事より選擧止式決定を見ることとなつた

滿洲への分村移民

【東京國通】氏神樣と一緒に滿洲に分村を築くため滿洲へ移民しようとする農業移民運動の創始は宮城縣南鄉村の國民學校長松川五郎氏（故松川大將令息現在滿洲移住協會企畫部長）が農民生活の打開策として一戶當り耕地面積を三町步に擴げるために生れる過剩農家四百五戶（同村の約半分）を北滿に送つて第二の南鄉村を建設する計畫を樹て約五百五十戶の滿洲分村に成功したことが動機となつて全國各府縣六百七十八ケ町村が次々とその三分の一乃至二分の一の分村計畫を樹て今や「自由移民より分村移民へ」は農村更生の指言葉となつて普及するに至つたもので ある

滿洲の分家を滿洲に造らうといふ新しい分村移民運動が昨年宮城縣の一村から起つたのがきつかけで全國的に擴がり遂に農林省を動かしその農村經濟更生計畫の一つとして本年度初めて新規豫算を計上し來る四月から全國農村へ積極的に働きかけることになり內地農村に明朗性を與へるとゝもに日滿一體の礎を築く意味で注目されてゐる、この新しい

滿鐵本年度の給費學生決定

同文書院へ六名

滿鐵の本年度東亞同文書院ならびに哈爾濱學院給費學生の詮衡はかねて人事課において行つてゐたが候補者四十七名中學課試驗の結果左の九名が合格、給費學生として派遣されることゝなつた

總裁室文書課　伏木　淸吉

用度部倉庫課　山根　善男

大連驛々手　武藤　義一

錦州鐵道局工務課　白柳　義一

古城子採炭所電氣手　木田　彌三旺

東鄉採炭所事務手　鶴田　正男

東亞同文書院給費學生を命ず

錦州鐵道局經理課　相田　重夫

齊々哈爾驛々務手　笹木　辰男

運轉事務所驛手　三宅　藤志

哈爾濱學院給費學生を命ず

協和會、牌長劉春以下十七名に表彰狀贈與

昨年十二月廿日午後二時頃滿炭阜新鑛業所調査隊桑野隊長以下十四名の一行が義縣姜家店炭鑛の調査に向ふ途中朝陽縣黃土梁子屯西南方半里の地點に差しかゝつた際騎馬匪約三十の襲擊を受け苦戰中急報に接した黃土梁子屯牌長劉春氏は部落民十七名を率ゐ日の丸の旗を揭げて應援し匪團を撤退せしめその勇敢な行爲は各方面より賞讃されてゐたが協和會中央本部ではその行爲は全く協和會精神の發露であるとの意味からこの程朝陽縣本部を通じ牌長劉春氏ほか十七名に對し表彰狀ならびに金一封を贈つた

大村副總裁

大村滿鐵副總裁は山口新京支社長鑄院へ廿六日夜來錦したが廿日午前八時發列車で承德につた

外山卯三郎氏

三月中旬來京

昨夏來滿南滿教育會の主催で全滿各地を巡歷兒童の情操教育について講演多大の衝動を與へた美術批評家協會外山卯三郎氏は三月十日神戶出帆の黑龍丸で渡滿十七日あたりで來京數日滯在のうへ哈爾濱へ向ふ日程になつてゐる、なほ同氏は問題の映畫藤田嗣治氏作の『現代日本』を持參する豫定である

濱田鐵道課長

滿鐵新京支社濱田鐵道課長は事務打合せのため一日午前十時發はとで奉天總局に出張した

內山完造氏南下

『生ける支那の姿』につき滿洲各地を講演行脚中の內山完造氏は二十八日新京各機關での講演を終り、一日午前十時發はとで關係者多數の見送りをうけて南下した奉天、錦州大連各地で講演のうち更に黑河に向ふ豫定である

新京中學の入學考査

午前八時から

市內中等學校入學考査は二日三日兩日一齊に行はれ午前中は筆記試驗、午後から口頭試問、身體檢査を豫定されてゐる、開始時間は新京商業、敷島、錦ケ丘兩高女は午前九時半受付開始、十時考査開始であるが新京中學のみは午前八時受付開始、九時考査開始といと、他校より早いから注意されたい、尙既報兩高女入學志願者四百二十七名は其の後沿線各地よりの遲着分を加へて整理の結果四百七十六名となり相當な入學不能者を出すこととなつた

三月三日は初午祭

三月三日は舊曆二月二日の初午にあたるので驛町稻荷神社では初午祭を執行參詣者には神饌を頒つと

あす(二日)

▲各中等學校の入學考査

▲雲井武部一行公演、午後六時、公會堂

今晚の主なる放送

六、二五講演（東京）＝日比谷公會堂に於る滿洲帝國建國記念日祝典より中繼＝「一、滿洲建國の眞精神＝陸軍大將男爵本庄繁、二、挨拶＝駐日滿洲帝國大使阮振鐸」

七、四〇講演＝全日滿放送＝「△滿洲建國の夕」「建國六周年記念日に當り友邦の朝野に告ぐ」滿洲國國務總理張景惠

八、〇〇獨唱と合唱（東京）＝日比谷公會堂より中繼＝「ソプラノ獨唱」

八、二〇滿洲歌謠接續曲＝全日滿放送＝「幻影」新京ラヂオ・オーケストラ

八、三〇漫才（東京）＝日比谷公會堂より中繼＝

八、五〇浪花節（東京）＝日比谷公會堂より中繼＝玉川勝太郎

映畫と演藝

雲井式部浪曲會 今夕公會堂開演

去る十九、二十日兩日來演の豫定だつた女流浪曲の大御所雲井式部は何分四年振りの渡滿とて大好評にて各地共續演に續演を重ね、それがため新京も遂ひに豫定變更を餘儀なくされファンを焦立たせたが愈よ一日、二日兩日公會堂へ來演する事に決定した、彼女は人も知るテイチク專屬陣中の花形でその魅惑的な聲と音量は近年に至つて益々その冴えを見せ最近のヒット盤「伊達競艶錄」「紀文大盡」は斯界の至寶としてファンに珍重されて居る、一行中には贊助出演として廣澤虎造が秘藏弟子虎行を派遣し、美音の主日の本千代菊あり、特別出演には長老宮川松安の實弟として又親友派總務として今をときめく京山春駒あり、實に多士濟々、愛浪家ならずと雖も聽き逃がし出來ざる一行と云ふべきであらう、料金は一圓二十錢であるが本紙の廣告中にある優待券を持參すれば五十錢引きの七十錢均一に割引する

東京少女歌劇團 三日より開演

お馴染み日本三大歌劇の一「東京少女歌劇團」一行は來る三日より西廣場倶樂部に於て華々しく蓋をあけるが、本年度新作をとり入れた左記多彩なプログラムに、豐富なスター陣を配した豪華版で久方振りの歌劇集團の訪れとして期待される

▽プログラム＝歌劇「赤い帆船」同「浮かれ大名」時局レヴュー「軍國子守唄」ジヤズレヴュー、歌舞劇「籐六人形」

▽メンバー＝奈良祐子、正木正子、一條米子、小泉麗子、春日麗子、髙木喜久代、羽衣松子、六崎良子、吉谷峰子、常盤英美子、若宮繁子、秋本紀久枝、竹久純子、河合玉子、三笠花子、大川澄子、水木京子、小林メリー、高田貞子、丘アキラ、田村勝子、原田千代子、橘立弘子、淡路夏子、山本一子、篠田森子

春待つ人々 けふから長春座

長春座一日よりの番組は米リパブリック映畫「嵐の戰捷旗」と松竹大船「春待つ人々」の二本立である

▽米リパブリック「嵐の戰捷旗」久方振りの米國映畫「嵐の三色旗」のイサベル・ジュウエル「西部戰線異狀なし」のルユウ・エヤースが主演ウエリン・トツトマンとジエームス・グルエーンの書卸しをシートン・Iミラーが脚色、「僕は軍人」のハワード・ブレザートンが監督に當つた作品、米國陸戰隊の暴れん坊三人組が織りなす爭鬪と友情の物語りが上海波止場をバックに軍閥の裏に活躍する武器密輸ギャング對陸戰隊の銃火戰がクライマックスとして興味を添へる、助演者としてジエミー・エリスン、J・キャロル・ネイス、ジエイム・スパーク等が顏を並べる

▽松竹大船「春待つ人々」宗本秀男が「沈默の愛情」に次いで池田忠雄、齋藤良輔の脚本を監督した作品、撮影は猪飼助太郎、主演は藝達者飯田蝶子でお針の師匠さんとして登場、東山光子の娘に對する肉身愛を描いた物語、德大寺伸が娘の戀人役となる外河村黎吉、小林十九二、武田春郎等が脇役として出演する

戰ふ民族

御期待下さい 南都キネマ

▽グレイドガイ△ 米グランドナショナル映畫、不正度量衡を使用して大衆の懐をかすり取る惡徳政治ギャングの一味を向ふに廻してジエームス・キヤグニーの新任檢査官が單身銃火の洗禮を潜りつゝ迫害の魔手に敢然挑戰する、最近ワーナーへ歸へつたキヤグニーのGNにおける第一回主演作品、ジエムス・E・グラントの原作小說に基いてヘンリー・マツカーテイとヘンリイ・ジヨンソンが脚色、ジヨン・G・ブラウンが監督に當つた、助演者はメイ・クラーク、ジエイムス・バーク等、帝都キネマ三日封切

サボテン

モンテカルロに春が來た、櫻花爛漫と咲亂れた中でダンサー達が惱しき溜息の數々、此短い言葉に含まれた樣々の感情をよく聞いてやつて下さい ▼モヤシ編田和子孃「やーい素晴し、咲いたぞ、トタンに彼氏がほしくなるね、希望者は官製葉書でジヤン〳〵申込んでくれ、豫定數に達したら抽籤で幸運者を決定するから」オミツ小笠原光子孃「いゝ氣なもんだ、オレはステツプを初めて踏んだあの頃を思出すよ、昭和十年の今頃、奉天のブロードウエイでスタートした時の純眞さを今一度取返したい」▼ブーちやん內田三枝子孃「花より團子、これだけの花が皆食べ物だつたらいゝね」有島みどり孃「相變らず食ひしん棒ね、この春の空氣がわからないの、おゝ、君知るや樂しの青春を」▼高杉末千孃「春淺く風まだ寒けれど懷しの故鄉へ歸るの日來る此花は私の前途を祝福してくれる樣だね、さらば新京よ」

雜音

長春座寫眞替り、アメリカものとして「嵐の戰捷旗」を賣つてゐるのは松竹ブロと組んで強味と言はれやう▼興樂劇場「新しき土」は月曜日初日にも拘はらず好調な入り、出過ぎてゐるとは言へ「新しき土」の吸引力あなどり難しと言ふべし▼次週は四日から田中絹代、佐分利信の「女醫絹代先生」と「女のまこと」八日からは東寶全プロ「うそ倶樂部」と「花火の町」次いで「荒川佐吉」「家族會議」など▼新興の大作「[illegible]」は銀キネ十八日封切と決定した

水曜 二日 癸巳 舊二月 友引 平 軫宿

東京 水鄉・神誠館

●一白の人 勞苦に揉み拔かるゝ日何事にも隱忍が大切 甲と丙と丁が吉
●二黑の人 運勢は至極盛んに向ひ名弘め企業開店等吉 乙と庚と辛が吉
●三碧の人 海綱の日投機心を起す時は大敗を見るべし 丙と丁と丑が吉
●四綠の人 望事の大なるに過ぎて纏まり付かず程合吉 丙と丁と乾が吉
●五黃の人 位置は低くとも目上の引立てのある日なり 甲と卯と乙が吉
●六白の人 運氣塞りて氣分晴れざる日家居安靜が好適 乙と巽と巳が吉
●七赤の人 抗すれば抗するほど逆運に見舞はるべき日 巳と庚と辛が吉
●八白の人 居心惡くとも目上には引き立てらるゝ吉日 卯と乙と庚が吉
●九紫の人 地位に安んずれば福は自から集り來るべし 丙と庚と丑が吉

昨年度に於ける 滿洲物價趨勢（下）
高物價、全面的に浸透す

各類別とも前年に比し騰貴を示して居り、高物價は全類別商品に浸潤して居る事が窺はれる、然し總平均指數の年一割八分の騰貴を齎らした主因は金物類の七割四分と云ふ騰貴にあつたと云はざるを得ない、此の金物類の格段な著騰を除いては雜品類、紡織品類、建築材料類、雜穀類は何れも一割七分乃至一割六分程度であり特産類は九分、食料及嗜好品類は約七分の騰貴であり燈火品及燃料類は四分の比較的輕微な騰貴であつた、此等類別指數は基調としては大勢的に强調にはあつたに違ひないが、必しも平均指數と同一變動を示したものでなく、騰落が相錯綜し夫々が相殺し又强め合ひ弱め合つて居たのであるから、次に各類別指數の一ケ年の變化を見よう

先づ特産類は一月を最高として寧ろ月を逐うて漸落を辿つて居る、此の傾向は雜穀類に於ても見られ雜穀類は四月を頂上に低落を續けた、即ち滿洲農民の購買力を増大せしめた前年來の農産物價格の騰貴は年初に於て解消し、以後は世界的農産物の増收豫想に價格の慘落となり、輸出農産物價格に依倚する滿洲の穀類の價格はそれにつれ低落せざるを得なかつたのである、食料及嗜好品類は夏季に低落し冬季に騰貴する從來と同樣の季節的變動を示しはしたが七月の事變發生により、從來よりも早く上騰に移り六月を最低として以降はジリ高に月と共に昂騰を辿り年末に最高指數を示した、紡織品類は前年の日本に於ける棉花を中心とする思惑による爆騰を受けて一月には近年の最高を示したが、以後は思惑の訂正と共に反落となり、殊に事變によつては却て重壓を受ける事となり低迷を脱せず、十月には秋高景氣の一端を現して微騰を見たが年末には再び低落し年中の最低位となつた、金物類は前年來その騰貴は格段であつたが爲その騰貴は最も注目されたのであるが、滿洲に於ては統制の對象として取上げられ昭和製鋼所が日鐵と協力しての市價抑制策奏し年初より三月にかけて低落し三月には本年の最低となつた、然し五月には銑鐵の建値引上を見た日滿商事による販賣價格統制が見るに至り再び騰勢は阻止された、然し價格統制に不拘市中への出廻り減少につれ漸騰し始めた、爲に八月には資材拂底に市中相場は騰貴せざるを得ず年末には本年の最高となつた、建築材料は一月の最低より漸騰し六月に最高に達し後漸落を示したのであるから從來の季節的變動に對應して變化したのであつて、事變による强き影響も見られず、又其他の偶發的事由による變動も見られなかつた、唯一般的高物價に基く高水準にて變動した事は否み難い、燈火品及燃料類は主として專賣或は統制價格であり、その變動は主として酒精、薪の變動を移したものである爲その騰貴は極めて輕微に止まつた、燈火品及燃料類の騰貴の僅かであつた事は、日本に於て事變後此の類別に該當する商品の顯著なりしに對照して、事變後の滿洲物價の上騰を低度に引留めた一因と考へられるのである、最後に雜品類は總平均指數の動きと大體同一の變動をなしその騰貴率も平均騰貴率に近い事は雜品類の構成上當然であつて此の類の騰貴は高物價の全面的な浸透を物語るものである

滿鐵三月末迄の資金繰り

滿鐵では十二年度末（三月）までの所要資金約二千萬圓を豫定してゐるが、三月はじめ重工業株讓渡による入金中一億圓を六、七兩月償還期限の五分五厘債六千五百萬圓及び十二年度シ團よりの前借金三千五百萬圓の償還ならびに支拂ひに充當、その殘餘金を年度末迄の資金に向け不足分は興銀その他より前借によつて賄ふ筈で以上により十二年度資金繰りは終了する譯である

全滿主要都市の小賣物價微騰

第五十二次全滿主要廿都市小賣物價調査は廿八日經濟部から發表されたが、それによれば前月を基準とせる品類別平均指數に於ては騰貴せるものは蔬菜類の一七・二％をはじめ魚類及び肉類四・五％、調味嗜好品〇・九％、衣類及び鞋類の〇・一％であつて下落せるものは穀類の〇・七％、燈火燃料の〇・五％及び其他食料品の〇・四％でこれが總物價指數は一〇〇・六にして即ち〇・六の騰貴を示してゐる、更に前年同月を基準とすれば穀類の八・三％の下落せる外は全品類共昂騰し、これが昂騰最高順位をみれば蔬菜類四〇・二％をはじめ魚類及び肉類の一五・一％、燈火燃料七％、衣料及び鞋類四・九％その他食料品三・五％及び調味嗜好品の七％で總物價指數においては一〇三・六即ち三・六％の騰貴を示してゐる

新京、奉天、哈爾濱、吉林、齊々哈爾、營口及び安東の七大都市における總物價指數（康德元年基準）は一三四・〇にして即ち三四・〇％の昂騰を示し、これが昂騰趨勢を品類別にみれば蔬菜類八三・九％をはじめ穀類七九・九％その他食料品五四・七％魚類及び肉類三九・三％調味嗜好品二三・八％燈火燃料八・九％衣料および鞋類の八・二％の順位を示してゐる

△都市別

都市	新京基準	前月基準	前年同月基準	康德元年平均基準
新京	一〇〇・〇	(十)〇・三	(一)一・二	(十)三六・七
奉天	(十)七・〇	(十)三・五	(十)二・二	(十)三八・五
哈爾濱	(十)三・八	(一)〇・五	(一)一・三	(十)三四・二
吉林	(十)〇・六	(十)一・〇	(十)〇・八	(十)四三・四
齊々哈爾	(十)五・二	(一)〇・三	保合	(十)三六・八
營口	(十)五・四	(十)〇・六	(十)五・四	(十)三四・七
安東	(十)一・七	(十)一・二	(十)七・四	(十)三八・八
總平均	——	(十)〇・六	(十)三・六	(十)三四・〇
大連	(一)八・七	(十)〇・八	(十)二・八	

類別	前月基準	前年同月基準	康德元年平均基準
穀類	(一)〇・七	(一)八・三	(十)七九・九
蔬菜	(十)一七・二	(十)四〇・二	(十)八三・九
魚類及肉類	(十)四・五	(十)一五・一	(十)三九・三
其他食料品	(一)〇・四	(十)三・五	(十)五四・七
調味嗜好品	(十)〇・九	(十)〇・七	(十)二三・八
衣類及鞋類	(十)〇・一	(十)四・九	(十)八・二
燈火燃料	(一)〇・五	(十)七・〇	(十)八・九
總平均	(十)〇・六	(十)三・六	(十)三四・〇

奉天で産業部 工業會懇談會

滿洲國産業部對滿洲工業會懇談會は廿八日奉天ヤマトホテルにおいて産業部側椎名工鑛司長、藤田事務官、工業會七十餘工場代表者出席の下に開會、午前中は滿洲産業開發五ケ年計畫に即應すべき鑛工業統制ならびに企業の調整その他諸方策の重要議題を俎上に種々懇談討論を加へ午後は引續き

一、免税、その他税制問題
一、工業組合法に對する問題
一、鐵道運賃問題

等につき協議した

滿日亞麻公司 新工場を建設

纖維國策會社たる滿日亞麻公司では生産能力擴充を企圖し工場増設計畫を樹て、北滿に工場敷地物色中のところ、濱江省延壽縣城東方半里の地點に決定、最近建設用地の買收を終り、解氷期を俟つて工場建設ならびに機械の据付に着手し、本年末迄に諸準備を完了、事業開始の豫定であるが、原料は延壽を中心に北滿各地農民より購入し、亞麻工業の發展に邁進する筈

東滿産業 三月末に創立

【京城國通】創立準備中の東滿産業（資本金二千萬圓、四分の一拂込）は新株式の公募を終り、三日一日拂込みを徴收した上三月末若くは四月上旬東京に於て創立總會を開く豫定である、本社は東京に置くが時期を見て新京に移す筈で、本年より直ちに事業開始をなすが、第一期より七分配當は可能であると言ふ、なほ同社の社長は中村直三郎氏で專務には齋藤固氏、この外朝鮮よりは賀田直治、大原正藏兩氏が平取締役として入社することになつてゐる

總局埠頭營業規定 一元化に決定
——四月十五日より實施——

鐵道總局では鐵道と密接な關係を有する埠頭務の圓滿なる發達を期する見地から從來社線（大連、營口、安東）國線（葫蘆島、河北及び北滿各線各埠頭）北鮮線（羅津、淸津、雄基）等各別に制定されてゐた埠頭營業規定を全面的に統一しこれを一本の規程に改正することに決定、來る四月十五日より實施することになつた、右改正に當つては大體現行社線埠頭營業規程を基準としこれに適切妥當なる改正を加へたものとし、實施の曉は埠頭業務遂行上多大の利便を齎すものと見られてゐる

哈鐵二月中旬 混保寄託總數

二月中旬哈鐵管内社線向混保寄託總數は三五〇車（內合格三四〇車）にして前年同期に比し一六一車の減少を示した合格割合は一等五〇車、二等一〇六車、三等一四三車、四等四一車となつてゐる、なほ各線別成績左の如し

線名	合格車數
濱北	一五九
拉濱	[illegible]
濱洲	[illegible]
京濱	[illegible]
その他	[illegible]
松花江筋	[illegible]
計	三四〇

アジアビール會社 三倍の增産へ

アジアビール股份有限公司（資本金百萬圓、全額拂込濟）では、廿八日午前十一時より同社事務所において第三回定時株主總會を開き十二年度下半期營業報告ならびに決算報告（無配當）を可決、改正會社法に基き定款の一部を變更名稱をアジアビール株式會社と改稱することゝなつた、なほ同社では昨年四萬箱を賣出したが、今年は右の三倍約十二萬箱を市場に送り出す計畫である

二月下旬 對外貿易概算

【東京國通】大藏省發表＝二月下旬對外貿易概算左の如し（千圓）

輸出	六七、八四三
輸入	六九、八四八
合計	一三七、六九一
入超	二、〇〇三

東洋汽船增資

【東京國通】東洋汽船では廿八日丸の内生保協會に於て定期總會を開催、資本金七百萬圓（全額拂込み）を一千五百萬圓に増資の件を決定した

滿洲セメント 五分配當復活

【東京國通】滿洲セメントでは廿八日丸の内鐵道協會に定期株主總會を開き、既報の通り利益金處分案（配當年五分復活）を附議可決した

商況欄 一日前場

海外經濟電報

倫敦金塊	六磅一九志六片二分一
紐育金塊	三五弗〇〇
倫敦銀塊	二〇片一六分一
同先限	一九片一六分一三
紐育銀塊	四四仙四分三
孟買銀塊	休會
スチール株	五四弗八分五
アナゴンダ株	三二弗四分三

▲市俄古小麥

五月限	九三仙八分一
七月限	八八仙二分一
九月限	八八仙四分三

▲紐育棉花

現物	九仙二七
三月限	九仙一四
五月限	九仙二一
七月限	九仙二七
十月限	九仙三六
十二月限	九仙三六
一月限	九仙三九

カルカツタ麻袋

青筋	二三留比八分一
鐵筋	二〇留比八分五

▲外國爲替

米英爲替	四弗〇〇仙〇〇
米日爲替	二九弗一四仙
米支爲替	二九弗七六仙
英日爲替	一志二片〇〇
英支爲替	一志二片三二分九
印日爲替	七七留比二分一

阪神爲替

對米賣	二九弗八分一〇〇
對英賣	一志二片三二分一

各地株式市況

▲東京株式（短期）

	寄付	大引
新東	[illegible]	[illegible]
新鐘	[illegible]	[illegible]
新滿	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]

▲大阪株式（短期）

	寄付	大引
大新	[illegible]	[illegible]
新東	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
日番	[illegible]	[illegible]

各地商品市況

▲大阪綿糸

	寄付	大引
三月限	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]

▲大阪棉花

	寄付	大引
當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

▲大阪人絹

	寄付	大引
當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

▲大阪期米

	寄付	大引
當限	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

△橫濱生糸

	寄付	大引
現物	[illegible]	[illegible]
當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

青春の宿（一四一）

須藤鐘一作　柴谷宰二郎畫　（映畫上演）

新しき發展（十一）

彼に、千鶴子と母とを預けてをけば、譲治は安心である。よしんば、兄であり、息子である自分が天下の大罪人として、處罰される日が來ようとも、決して、街頭になげだすやうなことはせぬであらう。それどころか、嘆いたり、羞ぢたり、苦しんだりする母や妹を、力強い手で慰めてくれるであらう。

『いゝ縁です』

と譲治は、思はず、涙ぐんでいつた。

『こんないゝ縁はありません。千鶴子ばかりか、これで、お母さんも、幸福になれますねえ』

『さうなのだよ——今月限り千鶴子も勤めをよして、向ふさまのお宅の近くに引こして來るやうに仰有つてゐて下さるんだよ』

『いゝですね。何でも向ふのいつてくれる通りにしたらよいですよ、決して、悪いやうにしないでせうから』

『わたしも、そのつもりでゐるのですよ』

譲治は、この話が、耀子の好意から、出たものであらうと想像した。千鶴子に對する銀蔵の求婚は、むろん、銀蔵自身の氣持から出たものであらうが、銀蔵の氣持を察して、こんなに急速に、自分たち一家の利益になるやうにはかつてくれたのは、耀子に相違ないと思ふ。自分と争つてゐる際にも、譲治は、その争ふ氣持の底に耀子の自分に對する愛情を——強い愛情を感じとつてゐた。

——ありがたう。耀子さんあなたの好意は、僕は、永久に忘れません。

譲治は、さう心中に呟いていつた。

——僕も、あなたの愛情に縋つて、幸福に生きたいのですが、それが出來ないのです。そのわけは、いづれ、おわかりなるときがある——そのときは、どうか、僕を憐れんでやつて下さい。

譲治は、幸福な感情を抱いて歸ることが出來た。階下まで送つてゆかうとしたのをことはつて——階下に降りてアパートの監理者に、挨拶してゆかうと思つたが、そこにもゐなかつた。

そこで——そこを出て——十間ほど先の雨中に待つてゐる自動車の方へ走り出したが——いましも、自動車にのらうとしたとき向ふから、心もち、うつむいて近づいてくる女を見て、はつとした。銭湯からの歸りの傘をさして——美代子なのだ。

もし、トミから、美代子のことをきいてゐない譲治であつたら、氣がついても——見たことのある女だ。位で、すましたかも知れない。だが、トミが、美代子にあつたときいて、仲間のうちで一番心を騒がした譲治である——あれが、あの女ではなからうか。

女は、氣付かぬらしく、二三間近くまで歩みよつて來てゐる。

『熊！お前、あの女に見覺えがないか』

『——ある』

さいふ答へをきくと、譲治は、右手を上衣のズボンにつゝこみ、素早く、あたりを見廻して、人なきやうかゞひ、近付いて行つた。

『美い公——』

呼びかけられて立ち止まり譲治を見た美代子の面に、驚愕の色がいつぱいにひろがつた。

『しばらくだつたね——』

さ、針み聲だて

〔大正九年十二月十四日第三種郵便物認可〕

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 郵稅一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用 三二三五 營業局專用 三三三〇

發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

昭和十三年三月二日　新京日日新聞　(水曜日)　第五千四百二十九號　(一)

長期戰に對する重大な轉換期

陸相、軍の決意を闡明

【東京國通】杉山陸相は一日の衆議院豫算總會において北支ならびに中支最近の戰況に關し詳細なる報告を試みた後左の如くわが軍の決意を闡明した【寫眞は杉山陸相】

蔣介石は南京陷落後もさらに長期抵抗を策し、軍隊の再建を企圖してをりますが、兵數はかりに補充致しましても兵器の補給が困難でありますから、所要の裝備を整へるには相當の困難がある模樣で、遊擊戰術をもつてわが軍の後方を擾亂するとゝもに、廣大なる地域を利用しまして持遊作戰を行ひ第三國の支持干涉を期待してゐるのであります、しかし支那空軍はわが陸海軍航空隊によつて大なる打擊を受けましたが、なほ南京に對する空襲、蚌埠附近に對する反復攻擊、杭州に對する急襲等を試みてをります

事變がいよ／＼長期持久に入り國際情勢また逆睹すべからざるものがありますので、軍は申すまでもなく國家と致しましても總動員體制のもとに、萬般の準備と努力とを集中せねばならぬのでありまして、軍としては當々これに對する準備を進め軍の編成裝備などに相當大なる改編を行ひ且つ事變發生とゝもに戰地に出動致してをります部隊一部の交代、整理または入營等を行ひもつて今後の戰略を擴充強化するとゝもに長期持久に即應するため相當期間にわたつて之を實施する豫定であります、近來若干の部隊の歸還はこれ等の趣旨に基いて長期戰に對する重大なる轉換期に處する措置を講じてゐるのでありまして、今後ます／＼軍民一體相携へて堅忍持久、時局解決の最終の目的に邁進せんことを祈願してやまぬのであります

西進部隊、軍渡附近の黄河々畔に進出す

【北京一日發國通】軍司令部一日午後二時發表＝(一)汾陽、離石、綏德(陝西省)街道を西進せし部隊は二十七日軍渡附近黄河々畔に進出せり(二)山西々南部隰縣附近より南進中の部隊は逐次敵の退路に迫りつゝある

吳城鎭陷つ

【彰德一日發國通】趙城占領後引續き敵を追擊廿八日臨汾に入城したわが森本部隊は早くもその南方地區にあり、小林、岡崎兩部隊また臨汾西方地區に進出敵を制壓中である一方右翼の鯉登部隊も臨汾西方の要地たる吳城鎭を陷れてさらに進擊中である

靈石附近に於る敵戰死體一萬二千

【彰德一日發國通】去る廿五日靈石陷落の激戰および廿七日霍州附近における敵の損害は左の如くである

〇〇部隊正面の敵遺棄死體一萬二千、負傷者三萬を下らず、鹵獲品小銃五百、迫擊砲十、機關銃百廿、小銃彈藥百五十萬發、手榴彈五千、貨車六輛、枕木二萬本糧秣(メリケン粉三千袋)その他多數であるが、わが方損傷も相當に上つてゐる見込である

鳳陽で慰靈祭

【蚌埠一日發國通】江南、江北各地の戰鬪で護國の鬼と化した〇〇部隊の英靈〇〇柱の慰靈祭が快晴の一日午後二時から鳳陽城東門の廣場で神式により莊嚴且つ盛大に執行された、戰歿勇士を悼んで降り共に下る〇〇部隊長の祭文朗讀、軍司令官代理大坪中佐の祭文朗讀、弔電の披露の後〇〇部隊以下玉串奉奠があつて式を終り次で式場傍らに設けられた戰歿軍馬の祭壇に對し參加全將兵禮拜、異國の土と化した無言の勇士の冥福を祈つた、慰靈祭に續き午後三時より感狀並に表彰狀の傳達授與式を擧行し殊勳の〇〇部隊、兩角部隊、倉林部隊、大宮部隊、池田部隊、溝口隊、横尾隊に對しそれ／＼朝香宮殿下よりの感狀を傳達、次いで昨年十月十八日三家村の激戰で壯烈な戰死を遂げた故富藤淳涙中佐以下十九勇士に對し〇〇部隊長より表彰狀が授與された

臨汾附近の飛行場を占領

【彰德一日發國通】臨汾一番乘りの武勳に輝くわが中村部隊は、臨汾占領後城內の家屋拔穴等に潛入する敗殘兵を掃蕩する一方附近の飛行場を占領した

獨人軍事顧問等連袂辭職か

【上海一日發國通】ドイツの滿洲國承認以來國民政府ドイツ人軍事顧問のファルテン・ハウゼン將軍以下四十名の立場は頗る困難な狀態となり、特に共產黨員或は人民戰線派のドイツ人の追ひ出し運動は相當激烈なものがあるといはれる、しかしてファルテン・ハウゼン將軍以下の軍事顧問は支那軍がわが軍によつて徹底的に擊破され顧問としての面目を失つたので近く連袂辭職すると噂されてゐる、蔣介石としては今彼等を失ふことは作戰上相當の缺陷を生ずるとゝもに共產黨および人民戰線派との對抗上直ちに手離さないともいはれてゐるが、何れにしても今や彼等の存在は國民政府部內の一種の暗影として極めて注目されてゐる

新設經濟委員會の委員長に平生氏

北支開發事業を指令

【東京國通】北支方面派遣軍最高經濟顧問の就任を受諾した平生釟三郎氏は一日夜東京出發赴任の途についたが、同氏は近く北支方面軍內に新設される經濟委員會の委員長に就任することに內定してゐる而して經濟委員會の組織內容及び人的構成員については現地當局側と愼重打合せを行ふ事になつてゐるが、同氏の抱懷する委員會の構成メンバーは大體十名內外を今後必要に應じて適宜增減し得る樣伸縮性を有たしめる意向である、又經濟委員會は近く設立される北支經濟開發會社の開發事業を綜合的に統制指令する最高經濟執行機關となるものでその性質上中華民國臨時政府との有機的連絡を圖るため別に經濟局(委員長王克敏、副委員長平生釟三郎)を目下臨時政府側より委員五名、經濟委員會より同じく五名を協議會に送ることに方針內定したなほ內地にも近日中對支經濟局が新設される筈であるが、同機關は現地側の經濟委員會と密接なる關聯を保ちつゝ北支經濟國策に萬遺憾なきを期さんとするものである

英國の態度急變に支那の懊惱深刻

連日漢口で首腦會議

【香港一日發國通】英國政府の對支政策變更に對し國民政府首腦部は漢口で連日會議を開いてその態度測定のため意見を交換し對策を協議しつゝあるが、駐英大使館よりは右に關しまだ信用すべき情報到着せざる模樣で、新任英國大使カー氏も目下上海にあつてこれと親しく接觸する機會を得ず、一方漢口にある共產軍高級將校からも政府の對英外交の失敗を詰問その建直しを督促される有樣なので、政府內部の空氣は頗る焦慮の色が濃い、一方廣東有力銀行家方面も資金の保護と國幣維持の目的で多額の正貨をロンドンに預けて居り、廣東から輸出せる銀貨、銀塊の總額は三億弗に達してゐるので一層英國の動向については深甚の注意を拂つてゐる、彼等の一部では英國が和平交涉に乘出すことはなからうが、英國の利權が戰爭のため相當損害を受けてゐるので、或種の調停を希望するかも知れぬとの見解を持してゐるものもあり、國民政府內部は混沌として歸するところを知らぬ狀態にある

表彰の譽れの勇士

【蚌埠一日發國通】一日〇〇部隊長より表彰狀を授與された譽れの勇士左の通り

【兩角部隊】步兵中佐山畑鐵三郎、同中尉箕子要嘉、同伍長小平二郎、同上等兵渡邊虎男、同同齋藤福三郎、同一等兵邊渡國男【田代部隊】步兵中佐齋藤順一、同軍曹木野充則、同伍長守屋計亮、少尉佐々木淸雄【倉林部隊】步兵大尉久田米一、同曹長長島國雄【添田部隊】步兵准尉村手五郎、同伍長渡邊辰五郎、同上等兵田中重義【岩淵部隊】工兵中尉佐藤勝次、同上等兵千葉盛一、同一等兵加賀求【横尾部隊】步兵准尉橋本辰藏

沂州の運命旦夕

左翼敵陣總くずれ

【濟南一日發國通】李家庄において四千の敵を擊破した岡崎部隊はさらに敗走する敵を猛追しつゝ廿八日午後二時葛溝鎭(沂州北方卅二キロ)の敵を擊破、なほ猛進擊を續けてゐる、同方面の敵は[illegible]防禦の左翼を擔當する龐炳勳の第卅九師に支那海軍陸戰隊の青島保安隊を加へてゐるが、李家官莊を拔き友軍の東方に併進する片野快速部隊の猛進に追ひまくられて一路沂州へ或は集團をなし、或は三々五々敗走しつゝあるが、龐炳勳の本據沂州の運命は旦夕に迫り、敵左翼戰線は早くも總崩れの狀態に立ち至つた

滿鐵の傍系投資

新年度より消極化

【大連國通】滿鐵では十三年度豫算編成當初同豫算內に關係事業會社投資約三千七百餘萬圓を計上してゐたが、滿洲重工業會社の設立により昭和製鋼所拂込一千百萬圓、滿炭新株拂込一千萬圓、同和自動車拂込百四十五萬圓、計二千二百四十五萬圓は昨年度豫算より控除され新年度豫算に於る傍系會社への投資は滿化六百廿五萬圓をトップに僅々一千四百萬圓程度となつたが、滿鐵では重工業會社の出現を機に滿鐵從來の使命たる鐵道事業に專心するため新年度以降七十數社に及ぶ關係事業會社に對しては消極的方針の下に進むことになつた、すなはち

一、關係事業會社の增資などは消極的態度をもつて臨む

一、關係事業會社の持株を出來得る限り開放他へ肩替する

等の意向を表明しさきに滿洲石油會社の倍額增資、滿洲採金增資なども拒絕するに至つた、しかしながら滿鐵がかゝる方針を採るに至つた理由は勿論鐵道プロパー還元の意味もあるが、同時に健全財政樹立を期せんがためであつて滿化の如き八分配當持續の可能性あるものに對しては俄かに持株開放の意圖はなく滿化において新年度社債一千萬圓公募に關しては積極的援助を惜まぬものゝ如くである

ソ聯反革陰謀公判

トロツキストブロツク一部の西シベリア獨立事件

【モスクワ廿七日發國通】ソヴイエト政府は三月二日元人民委員會議長アレクセイ・ルイコフならびに元イズヴエスチア紙主筆ニコライ・ブハーリン兩氏にかゝる反革命運動事件の公判を開始する旨廿七日發表しセンセイションを起してゐる、ルイコフ、ブハーリンの反革命運動事件は昨年二月六日暴露、ジノヴイエフ、カメネフ合同本部事件、ピアタコフ、ラデイツク併行本部事件とならんで西部シベリア獨立の反革命陰謀事件であるソヴイエト政府は陰謀發覺とゝもに折柄ロストフに集合のルイコフ、ブハーリン兩巨頭ほか十三名を疾風迅雷的に檢擧直ちに嚴重なる取調べを開始したがその後これと關聯する西部シベリア、ザバイカル極東のシベリア諸鐵道從業員陰謀事件頻發の爲一年餘を經過した今日漸く審理を終了愈よ公判開始の運びに至つたのである

【モスクワ廿七日發國通】被告の中には元人民委員會議長ルイコフ、元イズヴエスチヤ紙主筆ブハーリン等西部シベリヤ陰謀事件關係者の外に外國間諜および右翼轉向などの嫌疑で最近數ヶ月間に逮捕された巨頭連を殆んど全部網羅してゐる、その主なる顏觸は左の通り

前外務人民委員部次長クレスチンスキー、前駐英大使ラコウスキー、前外國貿易人民委員ローゼンゴルツ、前林業人民委員イワノフ、前農業人民委員チェルノフ、前財務人民委員グリンコ、前中央購買組合理事長ゼレンスキー、前駐獨大使館參事官ベッソノフ、ウズベク共產黨書記長イクルモフ、タジック共產黨書記長クゾズガーエフ、白ロシア共產黨中央委員シャランゴヴイッチ、故マキシム・ゴルキーの秘書、カリウチコフ、考古學者サベーレフ

事件控訴狀

【モスクワ廿八日發國通】ソヴイエト內務人民委員部は廿七日右翼變更及びトロツキストブロックの一部として呼ばれる一群の反革命陰謀の取調べを完了三月二日より公判に附することゝなつたが、右陰謀事件に關し聯邦內務人民委員部は廿八日タス通信社を通じ控訴狀の概要を左の如く發表した

右翼變更並にトロツキストブロックはソヴイエト聯邦に敵意を有する諜報機關の手先となりその指令に基いて結成され情報の國外提供經濟建設の妨害、熟意分散テロリズム行使、赤軍兵力の毀損、對ソ侵略の挑發及びソヴイエト聯邦解體すなはちウクライナ白露の各共和國ジョルジヤ、アルメニア、アゼルバイジヤン等の中央亞細亞共和國等の分離獨立策動を任務とし以て社會主義社會並に國家組織の顚覆、ソ聯に代る資本主義並にブルジョア國家の再建を企圖せるものである、彼等はソ聯政府顚覆ならびにブルジョア權力再建の陰謀を遂行するにあたり凡ゆる希望を外國侵略者の武力援助の上に置いてゐたが、これ等の諸外國は又ソ聯の解體と上述の共和國分離を條件に陰謀團への支援を約束してゐたものである、陰謀團の首領ならびに結盟社は多年に亘つて某國諜報機關の手先として間諜行爲を働いてゐたが、今回事件の審理によつて

先づ

國民の敵トロツキーが實に一九二一年以來某々國情報の手先を勤めてゐたのみならずさらに一九二六年以來他の某々外國情報部のスパイをも勤めてゐた、また被告の內數名は帝政復活秘密警察の手先をつとめたことが確認された、又彼等はトロツキー、ブハーリン及びルイコフの直接指導の下に某々外國參謀本部の計畫したプランに基いて陰謀を進めたものであることが判明した今回の取調べの結果被告はスターリンの片腕、元共產黨中央統制委員クイヴイシエフ、元ゲ・ペ・ウ長官メンジンスキー、文豪マキシム・ゴリキーの諸氏を幇助者レーヴイン、カザコフ、ヴイノグラドフの三醫師およびプレッネフ教授の三名幇助の下に暗殺したことが確認された、更にキーロフ暗殺事件も右翼變更およびトロツキストブロックの決定に基きトロツキー、ジノヴイエフの合同本部によつて遂行されたことが判明したこれ等驚くべき犯罪はトロツキー派にとつても右翼變更派にとつても決して偶發的なものではなくブハーリンおよびその率ゐる所謂左翼共產主義者ならびにトロツキー派および左翼社會革命黨員等は十月革命直後既に一九一八年ブレスト・トヴイスク講和條約交涉中レーニン暗殺陰謀を

畫策

してゐた當時ブハーリン、トロツキー派の陰謀者等はブレスト講和條約をぶちこわしてソ聯政府を顚覆しレーニン、スターリン、スヴエルドロフを暗殺してブハーリン一派をもつて新政權を樹立せんと策動を續けた、この目的をカモフラージュするため彼等は事更に自派を左翼と稱したのである、一九一八年のレーニンならびにソ聯政府に對する犯罪が明るみに出されてからトロツキー、ブハーリン派のソヴイエト國民に對する犯罪行爲の全部が續々判明するに至つた

軍事費追加豫算

藏相說明

【東京國通】臨時軍事費及び十二年度豫算の追加豫算を審議すべき一日の衆議院豫算總會は午前十時五十三分開會、直ちに

一、臨時軍事費豫算追加案外三件を一括議題に供し、賀屋藏相より提案理由の說明あり、ついで杉山陸相、米內海相よりも臨時軍事費豫算の內容について夫々說明あり、引續き最近の戰局に關し杉山陸相より詳細なる說明を行ひ同十一時半散會した、賀屋藏相の說明要旨左の如し

事態の推移に伴ひ更に必要なる經費として追加計上を要する金額は歲入四十八億八千六百五十四萬圓、歲出四十八億五千萬圓である、歲出豫算につき大體を言ふと陸軍臨時軍事費卅二億五千七百萬圓、海軍臨時軍事費十億四千三百萬圓で豫備費五億五千萬圓であり、之が內容は軍事計畫に機密を要するは勿論、戰機は旦夕に變化極まりなきものであつてこれが明細なる內譯を示すことは出來ぬが、差支へなき範圍において陸海軍大臣より各その所管の事項につき說明がある筈である歲入についてはその財源を大部分を公債によることゝし、公債及び繰替借入金四十四億五千三百四十餘萬圓を計上した公債金以外の歲入は合計四億三千三百十萬餘圓で、その內譯は一般會計よりの繰入金三億一千八百三十萬餘圓であり、これは增稅及び煙草の値上等により不足額を繰入するものである、その他は特別會計よりの繰入金であるが、その合計一億三百十四萬圓である

衆院本會議

【東京國通】一日の衆議院本會議は午後一時卅五分開會、劈頭人權尊重司法制度の刷新を要望する

一、檢察權行使に關する決議案(齋藤隆夫ほか九名提出)

これを上程、全會一致をもつてこれを可決ついで

一、石油資源開發法案

ほか一件を上程、商相より提案理由の說明あつて山田淸君(民政)登壇

日滿支を一體とする燃料國策につき如何なる考へを有してゐるか

吉野商相 日滿支を一丸とした燃料國策については目下研究中である

町尻陸軍々務局長 北支の石炭資源の開發利用には大いに努める

代つて上倉宗明君(政友)石油資源の解決に關し吉野商相に質し、ついで山田順策君(民政)試掘に對し政府の奬勵を要望、代つて野中徹也君(第一)山西、陝西兩省に相當な油脈が埋藏されてゐるとのことであるが大規模の調査を試みては如何

吉野商相 治安の確保をまつて充分調査を行ひたいと思つてゐる

これにて質疑を終り委員會に附託、次に

一、樺太地方鐵道補助法中改正法律案

ほか一件を一括上程、拓相より提案理由の說明あり、原田春次君(社大)樺太の自治制設置に關し質して委員に附託し午後五時十分散會

人事往來

▲足立義之助氏(官吏)一日來京ヤマトホテル
▲蔦屋麻吉氏(會社員)同
▲德川守氏(同)同
▲古川義之氏(同)同
▲功刀義典氏(著述業)同國都ホテル

偶語

今次事變以來當局は防諜流言を嚴重取締つてゐるが當局の目を盜んで▼自宅二階に室內アンテナを張り優秀性能を有するラヂオにより深夜長沙からのゲリラ的怪放送を聽取し市中にデマを飛ばし▼或は擴聲器により出入する阿片患者を通じ▼これを市中にふれ廻るなど惡質ラヂオ盜聽支那人を大連で檢擧した▼優秀性能を有するラヂオは特殊機關以外許可されてゐない筈であるが▼最近新京で普通ラヂオに入らないニュースを聽いたと得々と觸れ歩く者がゐるらしい▼自己の博識を誇らんための虛構であるとすればともかく事實そういふ不屆者がゐるとすれば危險な話である▼市內にはラヂオ盜聽者も相當ゐるやうだが一つ根本的調査をやつてみてはどうか

滿洲國は擧げて重工業時代に入る

鮎川氏の放言果して當るや

鐵、石炭、電氣、液體燃料、輕金屬、金を中心とした滿洲の重工業は建國以來六ケ年の歳月において年々生産量の增加を示してゐる、しかしながら今日までの重工業の發展は統計の上に現れた數字より以上にそれが將來の殷盛を齎すべき基礎的建設を遂げたところに存する、滿洲國の經濟建設は建國當初から國家的計畫の下に統制的に進める政策をとり重要産業については國家的背景を持つた特殊會社を設立して各産業の統制的生産に當らしめた、しかして重工業における生産機構は最近滿洲重工業開發株式會社の創立をみて略々その體系を整へるに至つた、即ち製鐵、石炭、輕金屬、自動車、飛行機について滿洲重工業會社、電氣は國營及び鴨綠江水電、電業の兩社、金は滿洲採金、滿業、熱河鑛業其他、液體燃料については撫順によるオイルシエール及び滿洲油化工業、滿洲合成燃料の二液化工業會社等がそれで、今後なほ設立すべきものとしては滿業によつて設立されるその子會社、オイルシエール及び液化工業、各種機械工業、諸鑛業等に聊かその餘地を餘してゐる、右の如き生産機構確立の上にこれを國家的統制の圏内におくための法律的處置として鑛業法、重要産業統制法、ならびに各特殊會社法の實施を見、政府はこれら法規を背景として上述各會社を思ひのまゝに使驅すると同時にこれらを外來の障碍から保護してその生産を國家的使命に即應せしめつゝある、しかして右の如く生産機關と法律的背景によつて國家的生産機構の確立を達成した滿洲國政府は自ら生産の計畫を樹立した、滿洲國建國以來五ケ年の歳月を經た康德三年末第二の五ケ年に入らんとするに當つて各種産業の積極的開發をはからんとして樹てた産業五ケ年計畫が即ちそれである

□

産業五ケ年計畫は實行第一年度を閲してその各部門につき豫期以上の好成績を擧げたが一年の成績によつて將來への見透が略々判明した時期に際し時局の要請による軍需産業の需要增加、國際收支適合の必要等各種要因に影響されて更に計畫の積極的修正を行ひつゝある、修正された五ケ年計畫については一切嚴秘に附せられてゐるが、仄聞するに生産品の必要性において、生産の數量において、またこれに要する資金の額において重工業がその中心となつてゐる即ち今後においては重工業は滿洲産業の主力を形成する、五ケ年計畫が豫期通りの進捗をみれば今後數年後において滿洲は立派な工業國と化するのである

□

更に特筆すべきことは産業五ケ年計畫の樹立が滿洲に重工業時代を招來すると共に日滿ブロツクにおける重工業の中心を滿洲へ移動せしめんとする形勢を現出してゐることである、即ち計畫の數量についてみても鐵、石炭等の基礎原料にあつては滿洲の生産豫定數量は日本のそれに略々近いものとなつて居り、飛行機、自動車等については滿洲重工業開發會社の潤々たる野望は日本のそれを壓倒的に征服せんとする意氣をみせてゐる、しからば何故に滿洲の重工業が日滿における中心となり得べき實力を有するか、それは一に資源の賦存 二、滿業の規模と技術に歸する

□

重工業の基礎原料は鐵、石炭、輕金屬であるが、之等に就て滿洲は豐富な資源を有してゐる、日本に於てはその礦業の中心をなす石炭に於てさへ國內生産を以てしては國內需要を充たし得ない狀態で、製鐵事業に至つては原料たる鑛石及び屑鐵、銑鐵の手當を大部分を外國に仰いでゐる、これに引換へ滿洲には鐵、石炭、輕金屬と皆天惠の備らざるなく特に製鐵事業に就ては石灰岩、マンガン等の必須素材から各種特殊鑛の原料まで揃つてゐる、而も今日判明せる鑛産資源は豐富な埋藏の一端を覗かせてゐるに過ぎず、調査の進捗に依つて天然の寶庫は愈よその老大な姿を現さんとしてゐる、かゝる鑛産資源の存在は滿洲國をして世界有數の工業國たるの條件を存せしめるものである、日本の鐵飢饉、石炭飢饉を救ふものそれは滿洲國である

□

滿洲重工業會社生産過程の最大の特長は綜合經營による完全な一貫作業にある、この大會社は鑛石の發掘から製鐵、輕金屬工業を經て自動車、飛行機等の高度製作工業に至るまでをすべてその傘下において行ふかゝる完全な一貫作業は日本中の何處をさがしても無い、この一貫作業はその間冗費の絶無による製品の低廉によつて商品市場における壓倒的勝利を意味する、さらに滿業の特色はその技術による日本において望み得ざる大陸的特質に相似た條件を有する米國の技術を取入れるべき資格を備へてゐるといふのは鮎川滿業總裁の言である、氏の奔放に語るところを聞けばその米資導入の合理性が納得出來るのである、氏はいふもし自動車一臺を三百圓で買へることになれば誰でも買ふだらう、米國がそのいゝ例だ、誰が日滿の消費水準を米國のそれと同樣に引上げ得ないと云ひ得るか、從つて大量の生産設備を行へば平時に其捌け口に困るだらう等といふのは世の中を知らない者のいふことで安く澤山作りさへすればまだく需要は限り無くある飛行機についても程度の差こそあれ自動車と同樣のことがいへるだらう、鮎川氏の放言が當るか當らないか今後の實際の推移によつて判明するところであらうが、目下のところ我々はこれについて否定的斷言をなす材料を持たないのである

躍進の一途を辿る郵政儲金に振替

發達の過程を顧みる

玆に建國六周年を迎へ郵政事業も今や諸般の制度全く整備し、通信文化に於て青年滿洲國の大動脈たるに相應しい發展を見るに至つたのであるが特にその一分野である郵政儲金事業の躍進は目覺しいものがある

創業 一ケ年後の康德元年六月は人員に於て一七、七〇〇人、金額に於ては四九九、七〇〇圓と謂ふ數字であつたが、僅々五ケ年後の現在に於て人員二四四、〇〇〇人、金額二〇、三一六、七〇〇圓と謂ふ大なる數字に膨脹するに至つた、庶民階級の貯蓄機關としての郵政儲金事業が國の經濟文化の進展とその歩調を共にする事は當然であるが、此異常な增加率は滿洲自體の特殊性によるものとは謂へ他に全くその類例を見ない所である、創業當時の郵政儲金制度は中華郵政時代の制度をそのまゝ踏襲したものであつて、犯罪の豫防並に郵政官署における計算上の便宜に重點を置いた關係上預入及び拂戻を爲し得る局は一定されてをり、現在より見れば至つて利用關係が固定的で不便な仕組になつて居たのであるが、當時の國內情勢を顧みれば之亦當然な成行きと言はねばならぬ、しかし其後の急速なる産業及び經濟文化の發達並に交通機關の進展は永くその舊態に止まるを許さなく なり遂に昨年五月制度の全面的大改正を見るに至り、預金者は全國何れの局においても預入が出來、又拂戻も一定の條件の下に何れの局において も請求爲し得ることゝなつた外、その他微細な點に至るまで預金者の便益は增進せられたのである

從來 郵政儲金の原簿の保管並計算事務は新京郵政總局に於てのみ取扱つて居たが預入高の激增に鑑み昨年十一月を期し、原簿所管廳を錦州、奉天、新京及哈爾濱の四郵政管理局に分置し各地方の預人の利便を計る事となつた、國都新京をその管轄區域內に持つ新京郵政管理局の郵政儲金受持現在高は人員に於て七五、五〇〇人金額に於ては六、六八八、七〇〇圓となつて居るが最近數ケ月間の同局取扱新規預入數は左の如き數字を示して居る

四年　十月　二、一一七口
四年十一月　三、一三三口
四年十二月　五、三四二口
五年　一月　九、四五〇口

これに依つて見ると十一月迄は算術級數的な增加振を示して居るが十二月以降はにはかに幾何級數的な躍進を見せて居る、その原因は昨年十二月滿鐵附屬地通信行政權移讓の結果附屬地內日本人層の新規預入を吸收しつゝあること等に因つてゐる

次に 郵政振替業務は康德三年十二月創始され口座所管廳は現在哈爾濱、新京並に關東遞信局より移讓を受けた奉天振替部の三個所である、新京振替部における康德四年度末加入者口座數は一、八三三口で同年度中の口座利用延件數は四九、九二三件、その活動金額（受拂總額）は六、五九一、五四五圓、口座面殘高（預金高）總額は二二一、二六九圓となつてゐる、これを日本內地の同程度の口座所管廳の取扱高に比較すると眞に微々たるものである、滿洲國における本業務が斯くの如く不振であるのはその歷史の淺い事にも因るが小數の銀行、會社、商店及び一部の日本人を除き未だ一般に本制度の內容が充分理解されて居らぬ事に歸着すると思はれる、振替制度は常識的には郵政儲金と郵政爲替の作用を兼ね備へたものであると考へられて居り、目下の利用狀態をみても爲替送金に利用する向も多く恰も送金機關たるが如き觀を呈してゐるが

畢竟 利用方途の幼稚な結果であつて本制度の眞の使命は口座相互間の振替計算により金錢取引貸借決濟を行ふ點にあるわけである、本制度においては滿日の取扱內容全く一元的であつて希望者は何れの口座にも加入し得ることになつてゐる

中國聯銀開業 多少遲延

【北京廿八日發國通】中國聯合準備銀行は三月一日より開業豫定であつたが、事務的準備のため多少開業は遲れることゝなつた、しかして新銀行の發行する新紙幣は既に印刷成り正式營業開始と同時に唯一の法幣として流通せしめられ、現在流通してゐる中國、交通、河北、金城その他支那各銀行の既發行券は逐次交換回收され中央、中國、農民等蔣政權銀行の紙幣は流通を禁止される筈である、現在北支に流通中のこれ等各銀行券は總額約三億三千萬元と言はれるが、これ等は新法幣の出現によつて回收統一され劃期的な北支幣制の改革はいよく ここに實現する譯で、右銀行の業務開始は各方面から極めて期待されてゐる

對支事務局は將來廣汎強力機關に

【東京國通】北支並に中支における産業開發及び再建工作については政府は企畫院を中心として現地と緊密なる連絡を保ちつゝ具體案を作成中であつたが、北、中支に對する開發計畫の中心たるべき會社の組織大綱案が決定するとゝもに右兩會社の業務監督に當るべき中央機關として內閣直屬の對支事務局創設に關する方針も決定したのでいよく今週中の閣議に右兩開發會社法案並に事務局設立案を附議正式決定の上は兩法案と事務局設置に伴ふ豫算を議會に提出速かに協贊を得ることゝなつた、しかして對支事務局については その長官たる總裁を親任官とし、大體現在の對滿事務局と同樣性質のものたらしめんとの方向に傾いてゐるが、假令現在はかゝる更生の機關として一應は落着くとしても近き將來において北支、中支の開發を統轄指導すべきより強力且つ廣汎なる機關に轉化して行くべきであるとの意見も可成り有力に唱へられてゐる

伊のエ國併合

バルカン協商國會議で承認

【アンカラ廿八日發國通】アンカラに開催中のギリシヤ、トルコ、ルーマニア、ユーゴースラヴイア四ケ國のバルカン協商國會議は廿八日イタリーのエチオピア併合承認を決定した、同會議は西班牙フランコ政權に對し通商代表を派遣することに決定、さらにダーダネルス海峽の再軍備を規定する一九三六年のモントルー條約の修正をイタリー政府に要望する旨決議した

航空工業の入學志願者

千名を突破

【東京國通】航空力の擴充を目指して全國最初に創立された東京府立航空工業學校の入學願書受付は廿八日午後三時をもつて締切られたが志願者數はまさに一千名を突破するに至つた、募集人員は航空機關科、機體製作科各四十名、精密機械科八十名、合計百六十名で青少年の空の關心さがりれによつて知られる

建國節を迎へて

經濟部大臣 協和會中央本部委員 **韓雲階**

現下國際情勢就中支那事變の推移は愈々四千萬民衆の合成力を凡有る部門に於て必要として來たが、これがため政府當局は夙に國民精神總動員計畫を樹立し、機會ある毎にこれが高揚に努力して來た、即ち協和會では建國祭を前にして廿六日より國民精神作興週間を設け國民に建國當時を想起せしめ建國の本義に基いて大いに四千萬民衆の精神作興に寄與するところあつたが、更に民生部では三月一日の建國祭當日より一週間に亘つて全國民の建國精神を振起し以て時艱克服の國民精神總動員の心構へを高揚する事となつた、右國民精神總動員を果す上に於ては國民の自覺心を絶對的必要とするのである、右につき經濟部大臣協和會中央本部委員韓雲階氏は國民の自覺心を喚起すべく左の如く語つた

由來 我が民族は大きな民族的弱點を持つてゐるのであつて如何にしても今日此の際一大決心を以てこの弱點を矯正せねば到底わが國をして世界に於て一等國の水準に引上ぐる事は出來ないばかりか日本帝國の弟分として東亞の安定勢力を構成する事も出來ないのである、即ち其の弱點の一は「餘りに頑守主義」であることです、吾等が物質文明の落伍者となつた重大原因も此處にあるのであつて國民は餘りにも舊を愛し進取の氣象を缺いでゐた事である、農産に例をとつても數百年來何等農法の革新をみてゐないので

ある、友邦日本帝國の今日の富源は全く全國民の奮鬪と進取の氣象に仍るのであつて吾々は之を

模範 とし日滿一體の眞精神を以て滿洲帝國合成力發揚の出發點としなければならない、其の二は安樂患を憂ふるを忘れ勝であることです、これは民族の最大病源であると言つても差支へないのであ る「各自掃門前雪、不管他人瓦上霜」を金科玉條としてゐる間は國民精神總動員など所謂相互扶助も奉仕的精神犧牲的精神を望まれないのである、斯く相互扶助或は奉仕的犧牲的精神の薄い事は現下の如き重大時局に際して國家の團結力を高度に發揮する上に誠に寒心に堪へない處である、利己主義は即ち害己主義である事に留意して精神總動員を高揚せんとするには先づ以てこれら舊來の陋習を矯めねばならないのである、第三には官民の相距ること遠きに過ぐることです、國民は舊政權時代久しい間官よりの欺瞞壓迫に慣らされてゐたゝめに國民は官に對するに徒らなる媚と敬遠あるのみで官民和親策といふ事は薬にしたくもなかつたのである

建國 以來政府はこの點を大いに憂へて常に上意下達、下情上達の途を開いてゐるのであるが此の際民衆は官を信頼して大いに融合合作を圖るべきである、以上述べた三重大缺點に對し吾々新國家の一員は今にして須くその不明を覺り五族協和の精神を以て現下非常時局に當る國民精神總動員の心構へを持たねばならぬと同時に指導的立場にある日本人はよろしく日本精神の眞髓を發揮し五族協和の精神總動員に當り他民族の誘導に當つて頂きたいと思ふのである

新京特別市長 **于靜遠**

于新京特別市長は滿洲建國六周年記念日に當り次の如く感想を述べた

今日はわが滿洲國が獨立した記念すべき日で全國民とゝもに衷心より御祝致します、建國以來百般の施政は改善され或は獨創され、寔に近代國家としての體容を整備し驚異的發展を遂げたのであります、この證左は各國のわが國承認を見ても判ることであつて最近又獨逸のヒトラー總統がやがて承認する旨を發表され近く承認の實現を見んとして居ります、斯くの如くわが國の實力は各國に認識され國際的地位は漸次高まるとゝもに國際平和の協力者としての地位を築きつゝあることは寔に喜ばしきことであります、かく國家の發展につれてわが新京特別市の名の建設事業も目覺しき發展を遂げ整備されたる近代都市として堂々の歩みを預けて居ります、建設方面はかくの如くであるが、將來民の建國精神においては一段徹底的把握を必要とするものであります、すなはち國都を近代化し、王道樂土としての實を擧げなければならぬと同時に市民はいづれにても充分なる自覺をもつて相互に切磋琢磨し團結われくの希望達成に協力して戴きたいのであります

鮮魚小賣相場（三月一日）

品名	最高	最低
[illegible]鯛	二、三五	二、三〇
中小鯛	一、一〇	八九
カスゴ	…	…
チコ鯛	六五	五七
連子鯛	…	…
チヌ鯛	四二	三八
アマ鯛	四五	一五
イセエビ	…	…
車エビ	…	…
白サエビ	七二	六五
小エビ	…	…
マグロ	…	…
ブリ	…	…
ヤズ	…	…
ヒラス	七〇	六五
マナカツヲ	…	…
サワラ	三〇	…
サゴシ	…	…
スズキ	…	…
セイゴ	四〇	…
ニベ	…	…
アジ	…	…
サバ	三五	三四
メバル	三三	二一
アブラメ	二七	二一
ボラ	三五	二〇
スクチ	三五	一七
タコ	二二	…
飯蛸	…	…
紋甲イカ	八五	六五
甲イカ	三六	三一
水イカ	…	…
ヒラメ	五〇	一三
カレイ	一二〇	…
干カレイ	三〇	三〇
ホーボー	一四	八
コノシロ	二二	…
コチ	二七	二〇
カナガシラ	…	…
オコゼ	二七	…
ハゲ	五〇	二一
キス	四五	…
ハゼ	…	…
サヨリ	三五	二八
アナゴ	二〇	一五
ハモ	…	…
タラ	八	…
赤エイ	一二	…
銀魚	八五	七二
鮑	四〇	一五
カキ	四〇	…
貝柱	二七	二一
帆立貝身	…	…
赤貝	二〇	一四
ムキミ貝	四五	二七
ムシカニミ	…	…
觀貝	…	…
オバ	…	…
黑生子	三〇	一四
カニ	八〇	…
カマボコ	…	…
チクワ	…	…
スト	…	…
棒木（切り身相場）	一、三〇	四〇
大シビ	一、二〇	六五
スズキ	一、四〇	五五
ヒラス	…	一、三〇
サケ	…	…
サワラ	…	…
ヒラメ	七〇	五〇

春の旅客訪れから

新京驛の乘降客數 一日六千名突破

受驗、視察往來早くも激増 待機、張切る旅館業者

春の微笑みは旅客から―新京驛の此頃は暖い南への週末旅行や受驗の爲大連又は内地へと若き希望に包まれて勇躍出發する中等學校生徒でごつた返して一日の乘降客平均七千名近くの數字を示してゐる試みに二十六日の土曜日からの乘降客數を見ると

	乘車	降車
廿六日	三六五一	三六一二
廿七日	三四一一	三三四六
廿八日	三三三八	三四八七

となつてゐて二月上旬の一日平均五千名から見ると約一千名多い狀態である、これを詳細な數字で調べるために二月中の新京驛乘降客數調査を調べると一ケ月間の總計乘車人員七萬五千四十七名、降車人員八萬一千百七十二名で一日平均乘車二千六百八十名、降車二千八百九十九名となつてゐる、一月中の一日平均乘車二千九百五十二名、降車二千七百七十七名に比較すると乘車が減少して降車が增加してゐるのは故郷で舊正を過した滿人の群が再び來京して來た爲であつて降車客三千六百十四名を示した一ケ月を通じて最も多かつた十五日が元宵節の翌日であることに由つて此の理由がわかるであらう乘車人員の最も多かつた日は前記土曜日の二十六日であつて、この一日乘降客何れも三千名を突破してゐる狀態は三月に入り先づ中等學校の受驗の爲沿線各小學校から來京する小學校兒童や次いで暖かき春の呼吸と共に躍進國都の全貌を見やうと來滿する視察旅客の增加でずつと續く模樣で今や全市の旅館は此の押寄せる人の波を前に張切つて待機の姿勢に入つてゐる

排共を根本方針に 滿伊親善を圖る

けふ赴任を前にし徐公使語る

徐初代駐伊公使は愈々二日午後二時發あじあで家族並に三城參事官以下館員帶同南下日本經由ローマに赴任するが一日午後來客の應接と出發準備に忙殺されてゐる中に往訪の記者を引見、左の抱負を述べた

自分の赴任はヨーロッパに於ける滿洲國最初の外交使臣であるだけに責任の極めて重且大なるを自覺してゐる、公使として自分のなすべきことは第一に滿伊兩國の親善關係確立と正しき滿洲國の認識資料を駐在國民に與へることである、滿伊兩國は共にボルシエヴイズム排撃の指導精神において軌を同じくするものでありこれを對外國是としてコミンテルンの手より世界文明と平和を擁護することを根本的方針としてゐるからこれを基礎として兩國の親善關係を推進して行きたいこれには先づ理解あるイタリー國民の前に滿洲國の實情を餘すところなく紹介し漸次ヨーロッパ諸國民の蒙を啓きたい考へだ、この外兩國外交上に一、二の問題があるが未だ發表の時期に至つてゐないからこゝに語るのを差し控へたい、着任の上は日滿の一體關係からローマの日本大使館と充分連絡をとり任務の達成に萬遺漏なきを期すると共に日滿兩國の關係をイタリー政府並に駐在外國大公使に對し機會ある毎に説明する考へだ

なほ大連發の黑龍丸で東京に赴き阮大使及び日本政府と打合せの後十八日神戶出帆の照國丸に乘船四月廿八日ナポリ着の豫定である

張總理、訓令文を授與

張總理は滿洲國政府としてヨーロッパに最初に派駐する徐公使に對しその外交任務の重要性に鑑み特に外務局に命じ訓令文を起草せしめこれを公使に授與して携行せしむることゝなつた、同文書の内容は既報の如く滿伊關係の親善增進確立に關する各種の外交手段及び公使並に公使館員の事務的任務の範圍を訓令の形式で記載したものである

還暦祝を廢し海軍へ恤兵獻金

吉野町一丁目二六尾本留三郎氏は時局柄還暦の祝を廢して金貳百圓を海軍恤兵金にと廿八日駐滿海軍部を通じて獻金した

孔子祭慶祝講演映畫會 六日協和會館で

三月六日孔子祭に當り王道書院では協和會並に特別市公署後援のもとに午後二時より協和會館に於て王道精神宣揚王道樂土建設の趣旨のもとに孔子祭慶祝講演と映畫の會を主催することとなつた、當日は前總理大臣鄭孝胥氏の王道の研究と實踐と題する講演あり終つて全國聯合協議會、無軌道支那等の映畫が上映されることとなつてゐるが市民多數の聽講を歡迎してゐる

滿炭武道大會

滿洲炭坑株式會社では時局に鑑みて社員の身心鍛錬の見地から本年度より寮對抗武道大會を開催することゝなりこれが第一回大會を意義深き滿洲建國記念日一日午後一時より中央通署道場に於いて開催、定刻柔劍道選手八十餘名の入場次いで國歌合唱、森島勞務主任の開會の辭平本劍道部長より試合上の注意あつて試合に移り柔劍道共寮對抗リーグ戰に若人の意氣を遺憾なく發揮左の如き成績を以て終了、粟野理事長よりそれぞれ賞品授與あつて午後四時半盛會裡に閉會した

▲柔道 第一位龍寮、第二位鳳寮、第三位八島寮

▲劍道 第一位龍寮、第二位鳳寮、第三位八島寮、第四位清明寮

本社募集 馬糞驅除器 一齊に取付け

市民の惱み解消

空を覆ふ煤煙と共に市民多年惱みの種であつた馬糞の驅除に關しては各機關總動員で考案研究されつゝあつたが、昨年本社主催で良案を懸賞募集の結果苦心の作品多數を得更に改良を加へ馬車組合に於て製作中のところ、この程全部に配給を終り糞を始末する大箱四十個も完成し市内の要所々々に配置したので愈よ本日より一齊に使用する事になつた、これで懸案の馬糞も地上から消へ市街は明朗化するであらう、なほ本社では懸賞應募案中そのまゝ使用し得るものがなかつた爲め良案十三種を選び（住所姓名既報）考案者に慰勞記念品として床置き銅製大型の馬を贈つた

滿人飲食店組合定期總會

元附屬地飲食店業者によつて組織する新京滿人飲食店組合は一日午前十一時より賓宴樓に於て中央通署高等及保安係員立會の上定期總會を開催、事業報告及決算報告に次いで役員改選組合長賓宴樓劉純齊副組合長餘興樓、公記飯店當選午後零時半閉會續いて同所に懇親會を開催、和氣靄々裡に午後三時散會した

陸軍異動（續き）

【東京國通】

補豐橋陸軍教導學校長 陸軍少將 伊藤知剛

補熊本陸軍教導學校長 同 山崎右吉

補陸軍砲工學校砲兵課長 同 白倉司馬太

補陸軍大學兵學教官 同 竹内寛

補陸軍歩兵學校監事 同 本多政材

補下志津陸軍飛行學校附 同 下野一霍

補陸軍造兵廠總務部長 同 前田治

免英國在勤帝國大使館附武官補佐官 陸軍航空中佐 森本軍藏

有終美“建國の夕” 四日間に亙る慶祝行事終る

三月一日皇帝陛下の建國節は清朗の慶祝日和に恵まれ新京神社に於ける愛國式典を始め宮中行事各官廳の慶祝行事と大同公園に於ける慶祝大會等嚴肅盛大に擧行されたが、午後六時半よりは協和會館に於て建國の夕が擧行せられた、會場は約一千名の觀衆に依つてぎつしりと身動き出來ぬ程埋めつくされ定刻呂協和會中央本部組織科長の開會の辭につぎ、岳道德會長の講演あり映畫に移り、「極地を訪ねて」國務院弘報處作製「躍進國家」を上映、勇壯なる軍樂隊の演奏につぐ大同劇團第三部の熟演に滿場を醉はせ十一時萬歲三唱の後和氣靄々裡に閉會、去月二十六日より引續き行はれて來た建國節慶祝國民精神作興週間最後の行事もこゝに意義深く終了した【寫眞は建國の夕】

駐日大使館でも記念式典

【東京國通】滿洲帝國が建國されてすでに六年、獨伊の承認を得て東亞に確固たる地位を築いた友邦の建國六周年記念日である三月一日麻布の滿洲國大使館では午前十時半阮大使を中心に鮎川義介氏等日滿協會委員、滿洲國武官、警察官等二百餘名參集し嚴かな式典が擧行した、先づ日滿兩國旗に對して敬禮の後兩國々歌を合唱、張國務總理のレコード演說、阮大使の訓辭につゞいて日滿帝國萬歲を三唱して散會した、續いて午後三時からは青年團、少年團、國防婦人會、愛國婦人會の各代表二千餘名が靖國神社に參集日滿兩國旗を翳して市中を旅行列の大行進をなし二重橋前で萬歲を三唱、更に午後五時半からは日比谷公會堂で建國六周年記念の大祝典が開かれ廣田外相に續いてアウリッチ・イタリー大使、ネーベル・ドイツ代理大使、カステイヨ・スペイン代理公使、シゲウサエル・サドバドル總領事、マレラ駐日ローマ法皇使節の祝辭があり、次で餘興が行はれたがこの日ラヂオはこの祝典を日滿兩國に中繼放送をなし滿洲建國の父本庄大將の講演があつたほか飛行機からビラを撒き、アドバルーンを揚げ、また市營電車、バスは日滿國旗を翳して友邦の建國祭を慶祝した、なほこの日午後一時三十分阮滿洲國大使は近衛首相を訪問し滿洲國建國六周年記念日に當り日本側の援助に對し感謝の挨拶をなしたのち續いて陸海外相を訪問同樣挨拶をなした

滿洲國加盟を日本代表申込

國際陸聯總會第一日

【パリ廿八日發國通】國際陸聯總會は二十八日午前十一時フランス陸聯本部ル・ドグリシーで第一日を開催した、會長エドストローム並にわが永井松三の兩氏それぞれ正副議長に推され[illegible]世界記錄の公認をはじめ規約改正の件などを審議、アイルランド、セイロン兩陸上競技聯盟の加盟承認を行ひ午後三時一先づ休憩午後五時再開、豫て滿洲國の希望に基きわが代表から提出した滿洲國陸上競技聯盟の加盟申込みの手續きが遲れた爲改めて次回總會までに文書を以て加盟申込みをなすやう希望あり、一先づ保留となり午後七時第一日を終了した

滿鐵の“雛祭” 家族連れて大賑ひ

滿鐵大家族主義による社員家族相互の和樂と傳統的典雅なる日本趣味を偲ぶ『ひなまつり』は二日繰りあげて滿洲建國節の一日午後二時から支社福祉係の主催で西廣場滿鐵倶樂部で開催された、會場入口玄關には内裏雛を飾り舞台は係員が頭をしぼつた爛漫たる櫻花や雪洞、バックの雛人形ぐずしの裝飾幕等お祭り氣分溢れる中をお孫さんの手をとつたお爺さんお婆さん等々陸續と詰めかけて忽ち滿員午後二時司會者の挨拶があつて開幕可愛い子供達のひなまつりの歌につづいて建國記念日とおひなまつりの題でお父さんのお話（小林氏）があり私達のおどりと唄（青い鳥）お姉さん達の箏曲、お爺さんの奇術（岩滿、樋口兩氏）と何れも滿場の拍手をあびて國民舞踊愛國行進曲で晝の部を終り休憩のゝち夜の部に移りお兄さんの尺八と箏曲、お伯父さん達のマンドリン合奏、お母さんの獨唱（泉夫人）お爺さんの劍舞（田邊氏）お兄さん達の吹奏樂があつて十時過ぎ閉會したが會場は雛祭りに相應しい家族的なごやかな空氣に終始し空前の盛況であつた【寫眞は滿鐵のお雛祭り】

赤木常磐夫人に陸軍から感謝狀

十二年度軍事功勞者として

【東京國通】陸軍では昭和十二年度の陸軍々事功勞者として三十五名の地方官吏と六十四名の在鄉軍人に對し陸相の名を以て懇篤なる感謝狀、銀盃各一個及び光榮の軍事功勞徽章を、又帝國在鄉軍人會殿島市聯合分會外七團體に表彰狀を授與することゝなり、三月十日陸軍記念日を期して傳達されるが、滿洲關係のものは左の如し

滿洲國新京三笠町三丁目三 赤木常磐

以上感謝狀、銀盃、功勞徽章贈與

安東縣市場通二丁目四 退役陸軍憲兵少佐 大野耕作

以上表彰狀、銀盃、功勞徽章贈與

として感謝狀銀盃功勞徽章を贈與されることゝなつた赤木常磐夫人は三笠町赤木洋行の店主で現に國防婦人會の本部支部の理事として活躍してゐるが、自宅に訪へば白エプロンに國防婦人會のたすきをかけ感激の淚にむせびつゝ左の如く語る

全く感激の至りです、私の樣なものがこんな光榮に浴し胸がつまつていふべき言葉もありません、唯今も佛前にこのことを奉告致しましたが地下の亡夫や子供等も喜んでくれることゝ思ひます、私が國防婦人會の仕事に携はる樣になつたのは滿洲事變直後からです、かうして私達が安らかに暮して行けるのも全く皇軍のおかげです、私は唯爲すべきことを爲して來たに過ぎません、今後とも身心共に國家に捧げて一生銃後の勤をつくして行く決心です

西廣場小學校 三日音樂會

日本古有の典雅なる催の一つ三月三日雛節句は今年は時局を反映して各地共盛大に擧行される筈であるが新京西廣場小學校では三日午前十時半から講堂に全校兒童が集つてひなまつり音樂會を開くことになつた

滿洲國入りの判檢事十九名 近く發令

【東京國通】滿洲國の立法に參與した日系參事官は治外法權撤廢により用務一段落したので近く歸朝することゝなりその代りとして判事十名、檢事九名の招聘方に關し人選を進めてゐたが、近く發令を見ることゝなつた

日銀人事異動

【東京國通】日本銀行では一日附をもつて左の人事異動を行ひ發表した

命參事、北京駐在 松山支店長 吉川智慧丸

命參事、上海駐在 金澤支店長 鈴木亨一

敷島高女映畫鑑賞

敷島高女生徒は一日午前帝都キネマで映畫觀覽「上海」に皇軍奮戰の跡を偲び「赤ちやん」に佛國女學生生活の知識を得て好果をあげた

徐公使來社

駐伊公使徐紹卿氏同參事官三城昇雄氏は赴任挨拶のため一日本社來訪

プレーンソーダ

滿業の淺原理事、時々「溶鑛爐の火は消へたり」の作者で有名な淺原氏の兄弟に間違へられ東京にゐた時分は警視廳の人に貴方の弟さんのことについてなどと聞かれて困つたさうだ▼淺原源七に淺原六朗、名前の方をみると六に七それに面長な容貌迄が似てゐると來てゐるから兄弟と間違へられるのも無理はない兄弟でなくとも從弟とかなんとか少し位は血の繋りがあるんぢやないかとしつこく聞けば全く赤の他人ですと懸命になつて辯解する▼滿洲重工業開發會社の常務理事である淺原さん、溶鑛爐の火は消へたりなんて嫌がるのは當り前でせう

善行者節婦表彰式

本年度市公署管内に於ける善行者節婦の表彰式は建國祭の佳節を卜して一日午後一時より大經路小學校に於て擧行せられた、光榮の表彰者は慈善事業に携はつてゐるスイス人ローベル師、滿人紀布氏の二名で、定刻范市公署行政處長の開會の辭あり、陳教育科長より表彰者の業績披露を爲し終つて于市長より表彰狀を授與され、孫民生部大臣、于市長の訓示、來賓を代表して韓經濟部大臣の挨拶、紀布氏の答辭あつて午後三時終了した

天氣と氣溫

けふの天氣 北西の風晴 溫度幾分下る

日の出 前七時一六分

日の入 後六時二六分

きのふの氣溫 最高四度四 最低零下五度二

ラヂオ　けふの番組

〔M・T・C・Y 新京放送局〕 二日（水曜日）

朝
七、三〇　ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）
七、五〇　初等滿洲語講座
八、一五　講師　秩父固太郎
八、二五　ニュース・氣象通報（大連）
八、五〇　朝の音樂（東京）
九、〇五　建國體操（東京）
九、三〇　經濟市況（東京）
一〇、〇〇　家庭講座（奉天）
鍋料理のコツ　園山　清市
一〇、二五　料理獻立（大連）
一〇、三五　家庭メモ（大連）
一〇、四〇　經濟市況（大連・新京）
一一、三五　經濟市況（大連）
一一、四〇　經濟市況（東京）

晝
一一、五九　時報（東京）
〇、〇一　晝の演藝（レコード）
〇、三〇　ニュース（東京・新京）
一、〇〇　經濟市況（大連・新京）
三、〇〇　經濟市況（大連・新京）
三、四〇　經濟市況（東京）
四、〇〇　ニュース（東京）
四、四〇　氣象通報・ニュース（新京）
四、四〇　經濟市況（大連・新京）

夜
五、二〇　ニュース・演藝（餅語）
六、〇〇　子供の時間（大阪）
童話劇　電話
大阪放送童話劇研究會
六、二〇　コドモの新聞（大連）
六、二五　商業簿記講座　原島省吾
七、〇〇　ニュース（東京）
ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
七、三〇　國民歌謠（東京）
七、四〇　講演（東京）＝未定＝
八、〇〇　管絃樂（東京）＝未定＝
八、三〇　清元（東京）
日本放送交響樂團
尾花末露曾我菊（曾我菊）
淨瑠璃　清元貞賀外
三味線　清元歌千代外
九、〇〇　講談（東京）
黒田誠忠錄
栗山大膳　旭堂南陵
九、二九　時報・ニュース・ニュース解説（東京）
一〇、二〇　氣象通報・ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
一〇、三〇　ニュース再放送
北滿の時間（哈爾濱）
アナウサー　野村　宮岡　上森

清元　尾花末露曾我菊

〔後八、三〇　東京より〕

淨るり　清元貞賀
三味線　清元歌千代

頃しも建久　合　四ツの年　合皐月下旬に鎌倉殿、富士の御狩に警衛の　合　大小名が家々の　幕打ち廻す　合　紋盡し　さしも軒端を連ねたる假家も今は跡もなく　合　裾野に茂る篠芒　合　哀れ增穗の秋になほ　合　二世の契の　合　祐成に別れて合袖の乾く間も　合　なく習すがれし　合蟲よりも、昨日に變る虎御前合　身は墨染に遊女の、仇なる色も世を捨てて　合　佛に仕ふ　合　尼法師　合　せめては跡を　合　弔はんと　合道の案內に頼みたる　合　里の翁が道すがら「曇りし空も吹きはれて富士の高根に雲もなく、一目に三保の風景を是にて御覽なされませ「旅路の憂さを慰むる　合　人の情も物思ふ、憂身にたのしからざれば「其風景より亡き人を埋し所へ參りたし疾々案內してたべと、いふに翁は指さして「十郎殿を埋めしはあれなる小高き山の上小松が墓の標なりあれなる小松が標なりとか　合　ならはぬ道に勞れしも合　忘れて　合　ほとりへ走りより　合「見れば千種に埋もれし岡に一本の小松のみ　合　此が曾我の祐成殿を、埋めし跡でありけるか　合　世にあるときは大磯の　合　長か許にて全盛な、大盡遊びなされしに　合　如何なる科ある身なりとて　合　あまりといへば情ない、見る影もない有樣と、暫し涙にくれたりしが、合「尾花に結ぶ白露の　合　風にはらはら散るを見て「露とのみ消えにし跡をきてみれば尾花が末に秋風ぞ吹く　合　哀れ身にしむ　合　秋風の　合　詠歎に翁も感じ入り　目に見えぬ鬼神もひしぐは斑の德とやら、山家育ちの親仁さへ、實にもと感じ入りまする　合　芒折り敷き休らへば虎はしるしの小松に向ひ　倶に天を戴かぬ亡き父君の敵を討ち名を萬天へ揚げ玉ふは武夫の身の譽れなり姿も共にと思ひしが人の諭しに尼となり後世を弔ひ參らすれば、成佛得脫なしたまへ　合　南無　合　阿彌陀佛と　合　珠數を爪繰り稱名を唱ふる聲の涼しさにいとゞ殊勝に見えにける　名僧智識の供養にも優るあなたの其御回向成佛得脫疑ひなしかかるやさしき里人に道の案內を頼みしも一河の流一樹の蔭これも他生の緣ぞかし　濡道一と名の高き、今を盛りの君なるに、綠の黒髮切り拂ひ尼法師となり玉ふは深き契りと存ぜられます　問はれて語るも恥かしながら合　祐成殿とは　合二世三世　合　後の世かけていひ交し　合　夜毎に通ふ　合　磯千鳥　合　浮名は岸へ打寄する　合　波より高くなりし故「一夜逢はねば千秋の、思ひに過ぎし皐月の末　合　けふを名殘りの門出に亂れし髮をかきあぐる　合　湯津の爪櫛夫の顔見れば思ひの　合　十寸鏡　合　別れともなく　合　鳥籠を　合　恨みし廓のきぬぎぬは　合　またの御見を　合　紹めども　其甲斐もなく　合　空になく死出の田長の憂き別れ　合　血をはく思ひでありしぞと又さめざめと泣きたれば　其御歎さは御もつとも御いたはしく存じまする「便なき姿を痛はしく思ふ心のあるならば、祐成どのが討死せし樣子語り聞かせてたべそれは何より易き事、人の噂に聞きたる大略是にてお話し申しませう　合　しはぶきなして　合　聲つくろひ御兄弟が討入の其日は皐月二十八日　朝まだきより雨降りて御狩なければ祐經殿　合　あまたの遊女を狩家へ呼び　合　舞ひつうたひつたけなはの酒宴も果てて　合　人々が枕につきし子の刻過ぎ、時こそよしと簑笠に姿を忍びよる戸口　合　しるべの山はこなたぞと內に手引の者ありて念なく敵を討果はせ、しるしをあげし折からに一すは曲者が入りたるぞ　討取れやつと呼ばゝりて合　群がり出づる武夫を右と左へ　合　切倒す　合　飛鳥の如き働きは　合素袍に染めし蝶千鳥敵にかちんの十番切「かほど勇々しきお二人も　身は鐵石にあらざれば「祐成殿ははかなくも　仁田の四郎に討たれたまひ時致殿は五郎丸に　合　弱めとられて引かれしと今見る如く老翁が語るを聞いて虎御前「仁田殿に討たれしは嘸口惜しく思さんが名もなき者に討たれんより　合　遙かに優りし御最期と　合　亡き魂いさめ回向な　合　す　合　長き嘆きの秋の日の短かき日影裏富士へ、をちこちになくむら鳥　合　くれぬうちにと老翁が、うながす詞に是非なくなく　合　杖を便に行く影を　合　招く尾花に又後へ、心引かれて道のべに、行きなやみたる折も折、神すずしめの宮神樂　合　一斯くては果てじと夕露に、しめる袂を　合　振りはらひ、名殘りへかへる新尼の清き心を清元の、語り草にぞなしにける。

義人長七郎

（百七十八）

（第上演 映画化）中川雨之助　竹枝一郎畫

逆流（三）

「なるほど、妙案だ。しかし、將軍〳〵も幕府の大官どもが、さう易々と、われ〳〵の指頭に踊らせられるか如何か」

「はゝゝゝ乞ふ安んぜよ。われに妙計ありだ！　こゝに一人、われ等の傀儡となつて動く人間がある。誰でもない、それは老中松平伊豆守だ」

軍平の鋭い視線が、ヂロリと一同の面を射ました。

「伊豆守もまた長七郎を疑ふ點においては敢て將軍に引けを取らない方だ。將を射んとすれば、馬を射よで、先づ伊豆守を欺くのだ、そしてます〳〵長七郎への疑惑を募らせるのだ」と、軍平は述べました。

しかし中にはまだ、疑心の行かぬ者があります。

「伊豆守は、閣老中の利け者で、眞實目から鼻へ拔ける男で、智慧伊豆といふ綽名さへ有る人物だから、さうお手輕には行くまいと思ふ」

餘々念を入れるのは、齋藤孫十です。老人はやはり老人らしく用意周到です。」

しかし、何處までも自信の有るらしく、軍平は、鋭く首を振るのでした。

「なあに、よく泳ぐ者は、却てよく水に溺れる者だ。いくら智慧伊豆でも、謀つて謀れぬことはない。なるほど彼の男、智慧は有るだらうが、肝臀の勇氣に欠けてゐる。男としての度胸が無い。論より證據、去ぬる一揆の砌、幕府追討軍の總大將として島原に乘り込んで來て、あの軍の驅引の拙さ。それでさん〳〵味噌をつけたことは、直接幕府の軍略と寄合せをした一同が承知の筈。人間は智慧より度胸だ、度胸の無い奴へ付け込んで、うまく煽動したら、扨へて將軍を說く、將軍は一も二も無く、長七郎を斬れといふ命令を下す。そこまで行けば、もう此方のもの。長七郎は勢ひ自滅を免れぬ。即ち、手を濡さずして邪魔物を片づけるといふ一擧兩得の策だ。さうであらう。のう、お銀……？」

軍平は、突然、特にお銀の名を指しました。

殊更にお銀を指したので、いささか奇襲の感に打たれた一同は、軍平とお互に見比べながら變な顔をしてゐます。

一座はちよつと白けてしまひました。

が、軍平が、特にお銀の名を指したのは、實はまだ、彼女をスッカリ信じ切つて居ないからでした。曾ては長七郎におッ惚れて、自分を裏切り、御感付を嗅ひ去つたことのある彼女が、いま目の前に長七郎を殺す相談を聞いて、果して、どんな氣持をしてゐるだらう？」と、不圖さう思つたので、ツイお銀に呼びかける氣になつたのです。

果してお銀は、不意を打たれて、ハッとした樣子でした。しかし、そこは、海山千年の騙たか者だから。

「ほゝゝゝ、さうですねえ。それは、好い分別です。だん〳〵面白くなつて來ましたわねえ」と、如才なく、調を合してしまひました。」

しかし彼女は、自身にもハッキリ分らないほど、まだ何處やらに未練の殘つてゐることは、覆ひ包めないのでした。

實をいふと、長七郎の殺されるやうな話は、決して好い氣持では、聞いて居られないのです。

だから、ヂロリと軍平に、探るやうな目で睨まれると、ツイ心の底が見透かされさうで、詮しさうに、眼を逸らしてしまふのです。